

## 合格者アンケート調査結果

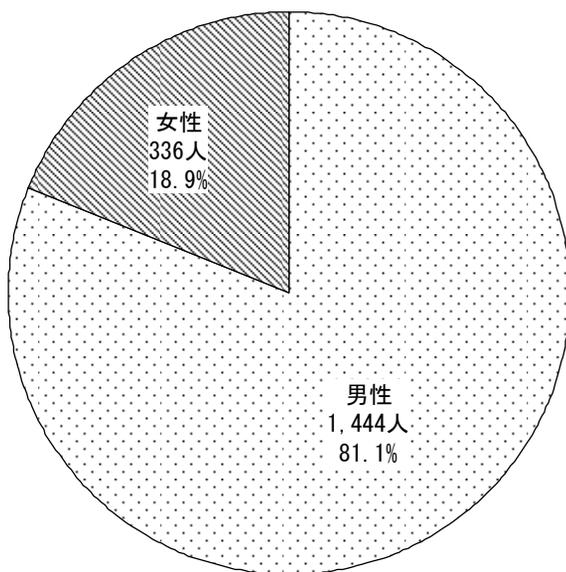
- 公認会計士試験・資格制度のあり方の検討に役立てるため、公認会計士試験合格者の意識や実態について、平成21年の実務補習所入所ガイダンスの参加者を対象に、平成21年12月にアンケート調査を実施した。  
 (参加人数：1,983名、回答者数：1,781名、回答率：89.8%)

質問1 男女比率

対象：全員  
 回答者数：1,780人

- ・ 男性が約8割、女性が約2割

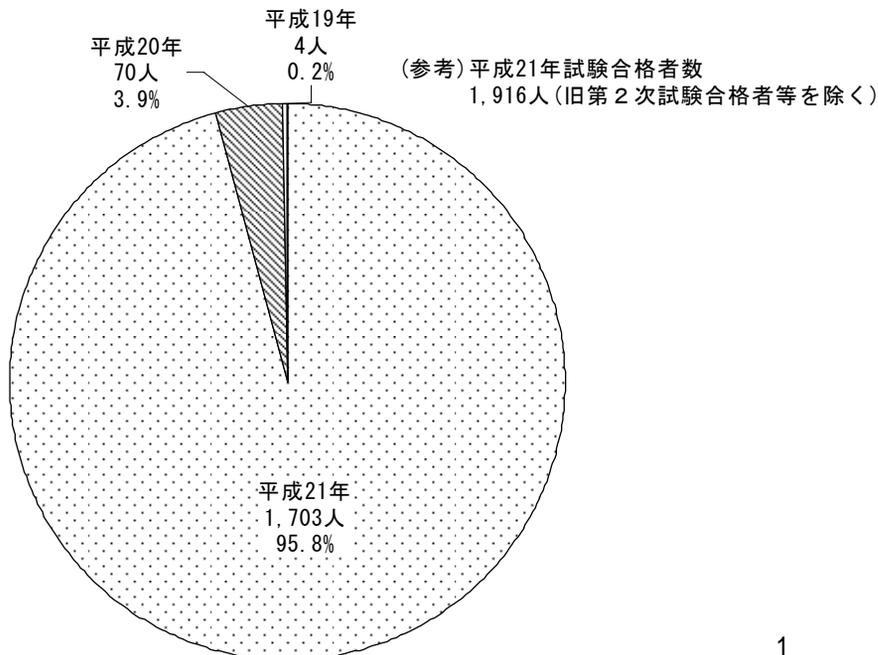
(参考) 平成21年試験合格者の男女比率  
 (旧第2次試験合格者等を含む)  
 男性 1,827人、82.0%  
 女性 402人、18.0%



質問3 試験合格年別割合

対象：全員  
 回答者数：1,777人

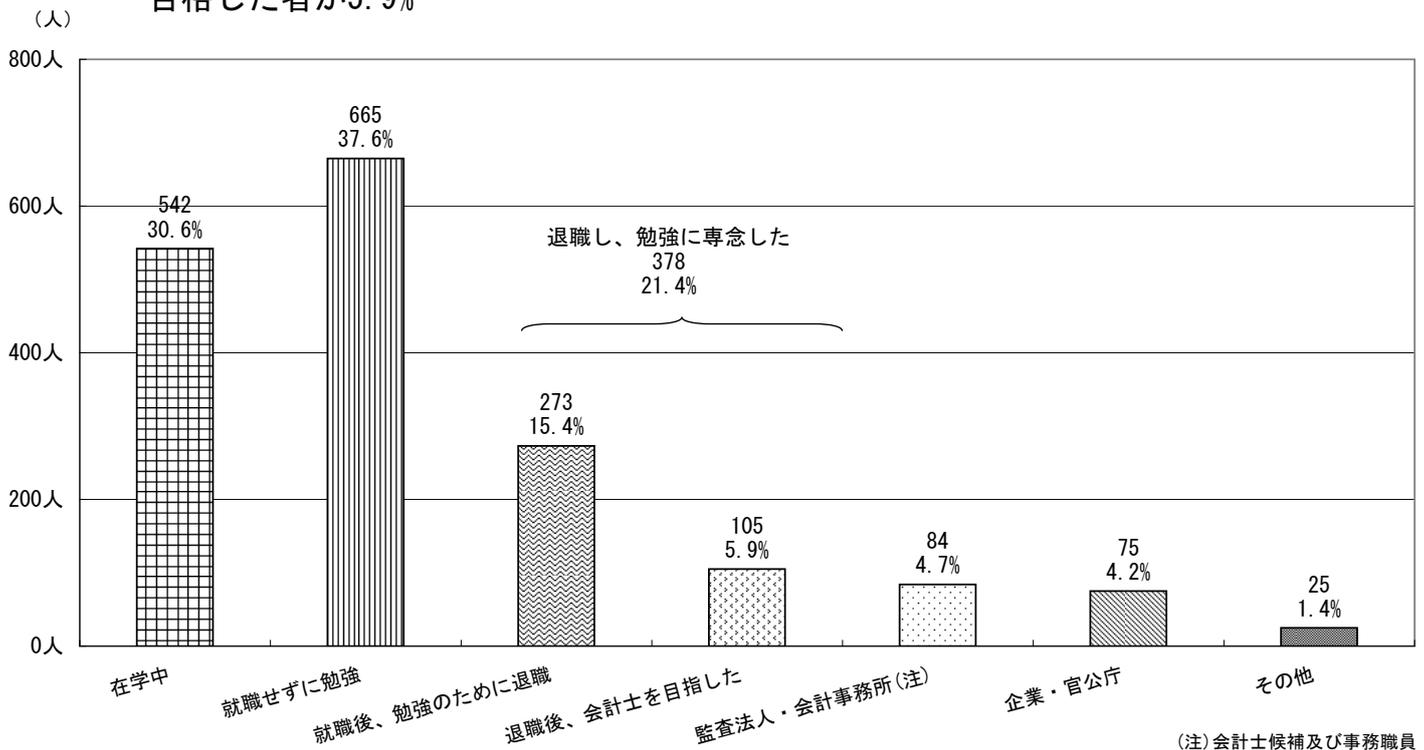
- ・ ガイダンス参加者のほとんどは平成21年の試験合格者



## 質問 6 最終学歴後の経歴

対象：全 員  
回答者数：1,769人

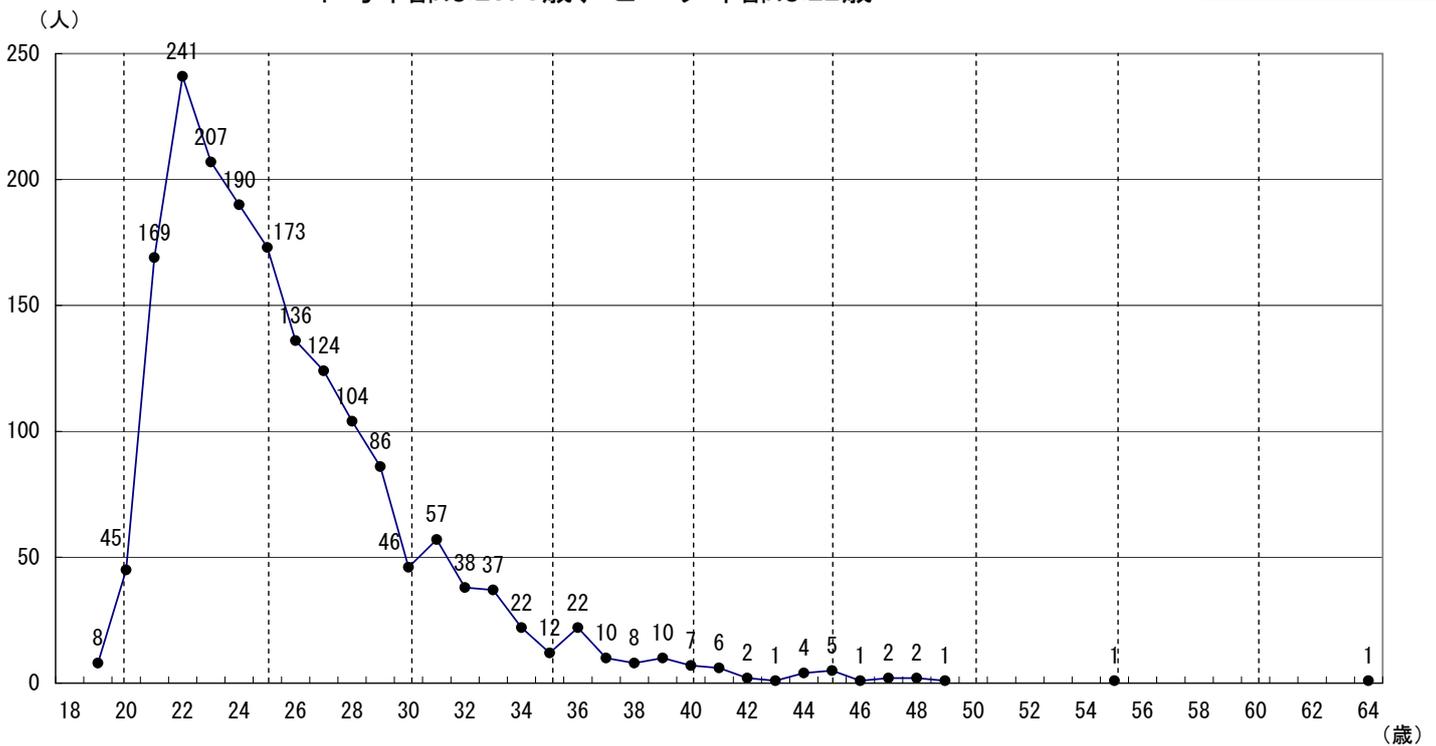
- ・ 在学中に合格した者が全体の30.6%、卒業後、就職せずに合格した者が37.6%
- ・ 就職後、勉強のために退職して合格した者が15.4%、退職後、会計士を目指して合格した者が5.9%



## 質問2 年齢分布

対象：全 員  
 回答者数：1,778人  
 平均年齢：25.8歳  
 ピーク年齢：22歳

・平均年齢は25.8歳、ピーク年齢は22歳



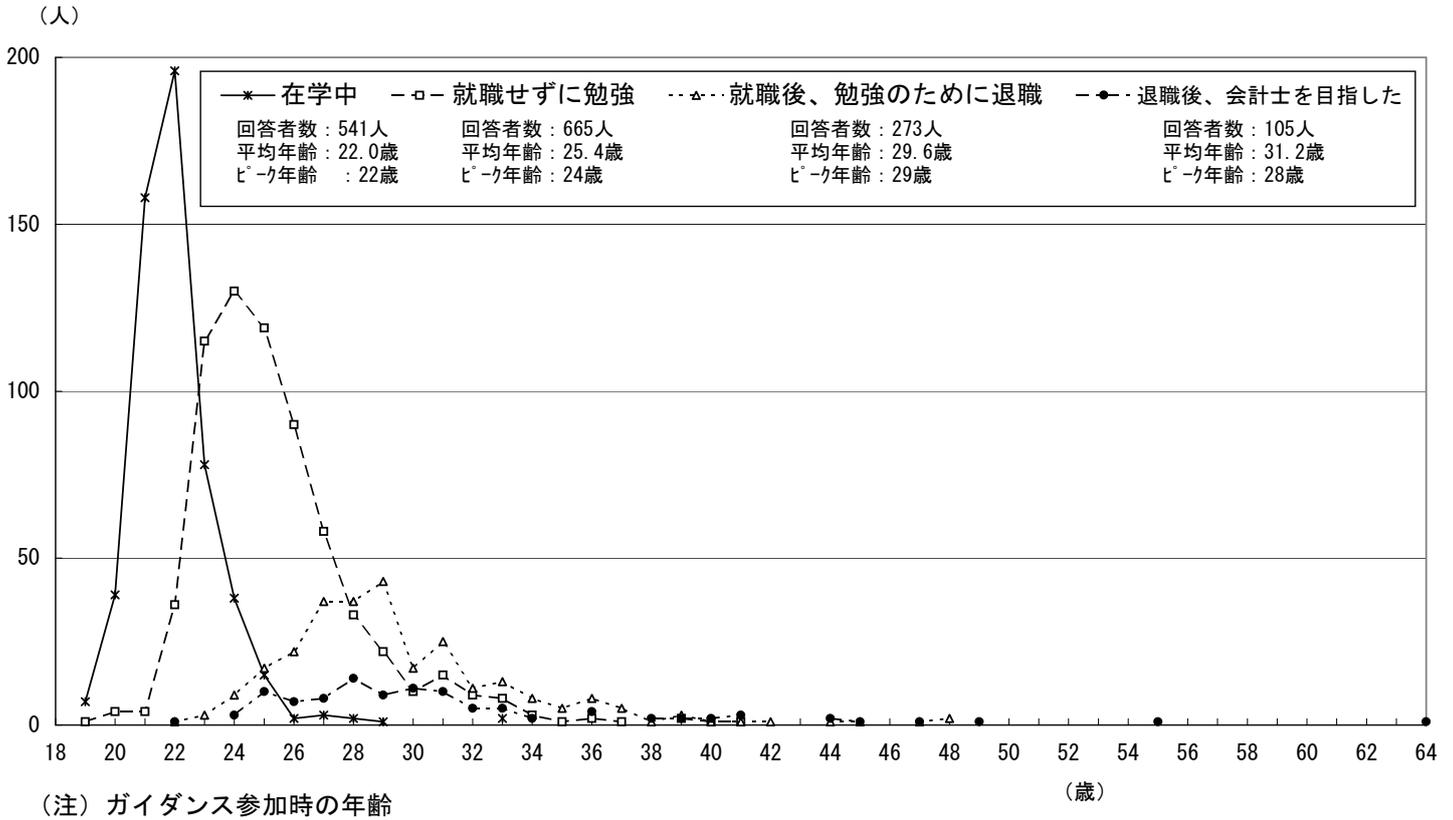
(注) ガイダンス参加時の年齢

## 質問2かつ6 経歴別年齢分布

経歴	平均年齢	最も人数が多い年齢 (ピーク年齢)	回答者数
在学中	22.0歳	22歳	541人
就職せずに勉強	25.4歳	24歳	665人
就職後、勉強のために退職	29.6歳	29歳	273人
退職後、会計士を目指した	31.2歳	28歳	105人
監査法人・会計事務所	27.7歳	25歳	84人
企業・官公庁	32.2歳	27/28歳	75人
その他	28.9歳	21歳	25人
合計	25.8歳	22歳	1,768人

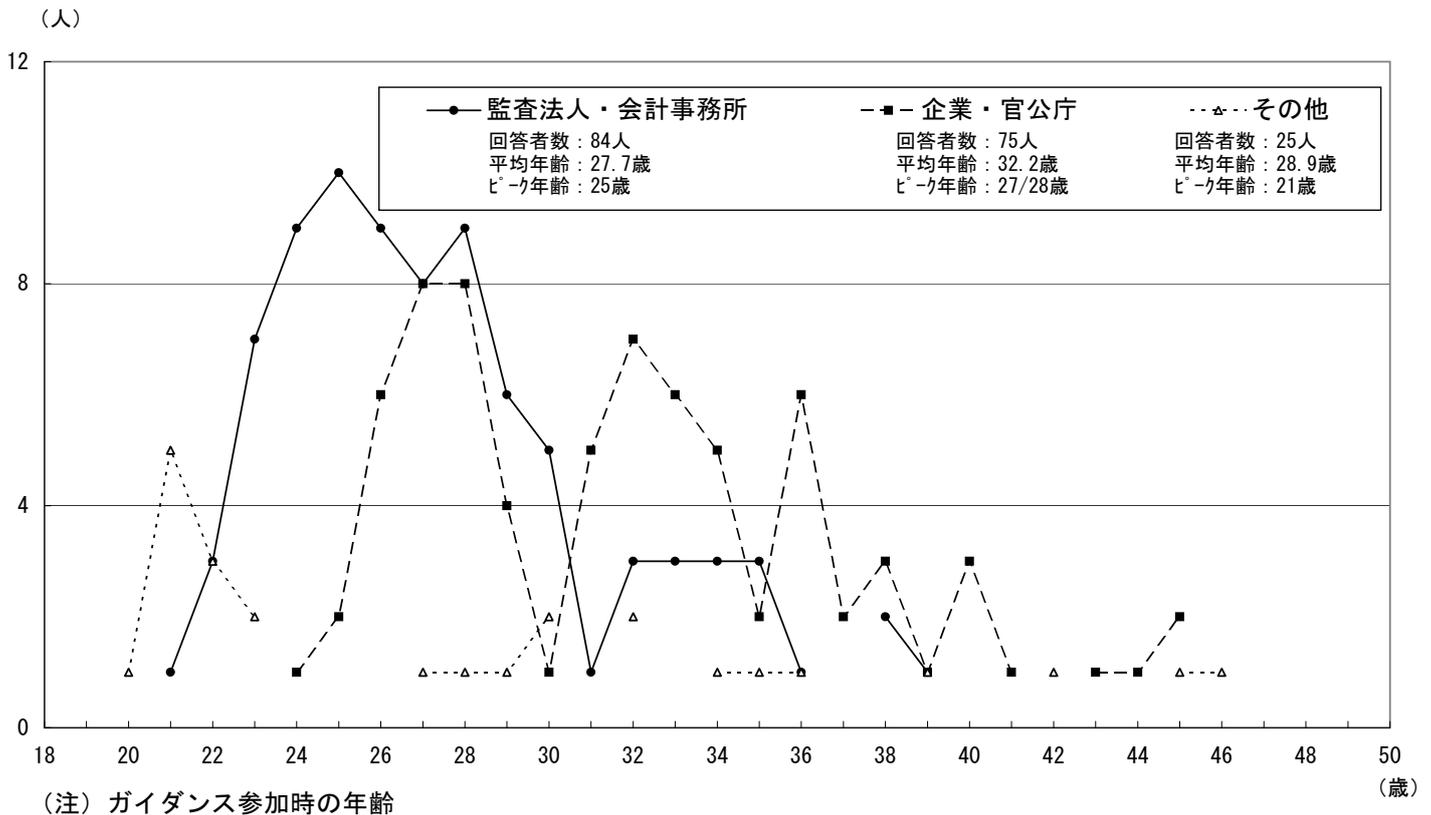
### 質問2かつ6 経歴別年齢分布（学生・無職等）

対象：学生、無職等  
 回答者数：1,584人  
 平均年齢：25.4歳



### 質問2かつ6 経歴別年齢分布（社会人）

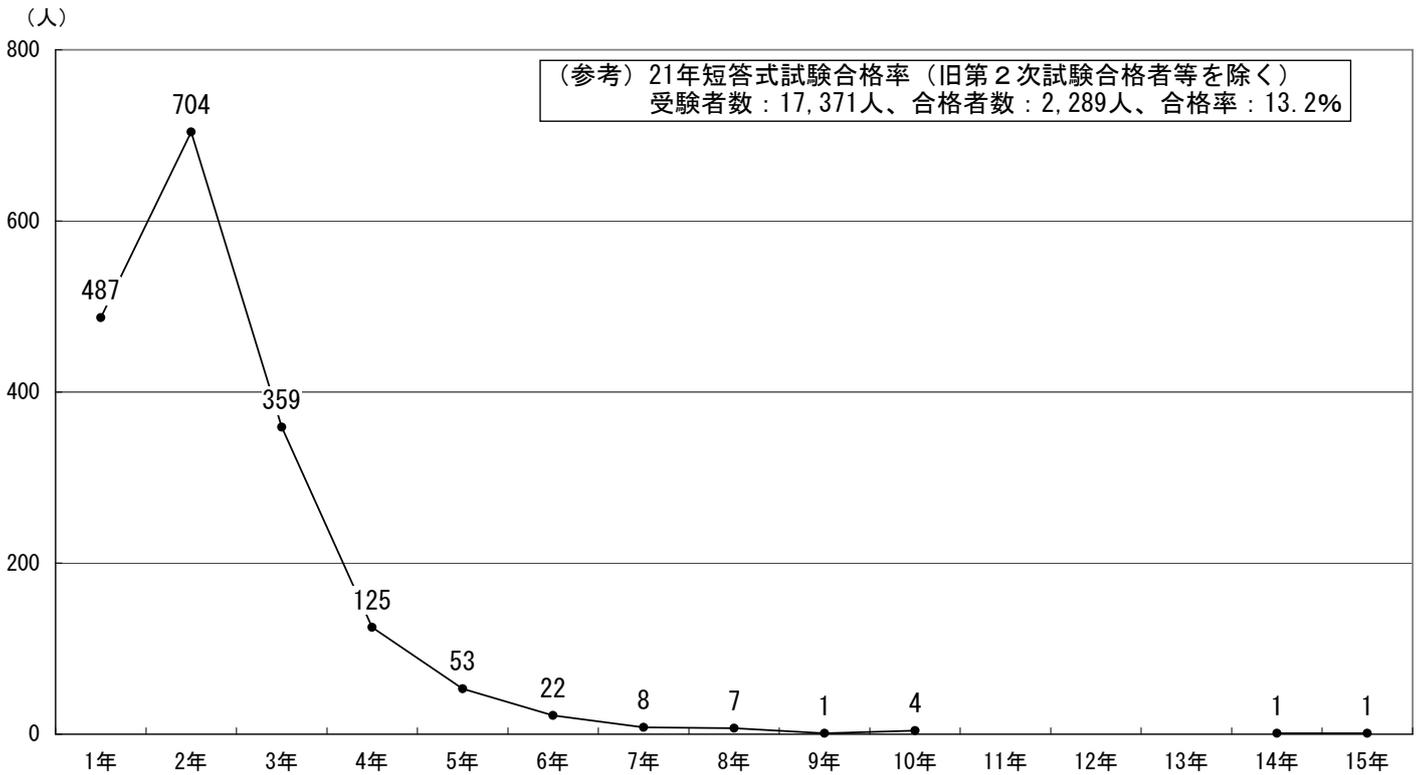
対象：社会人  
 回答者数：184人  
 平均年齢：29.7歳



### 質問4 短答式合格までの勉強期間

対象：全員  
 回答者数：1,772人  
 平均期間：2.3年  
 ピーク：2年

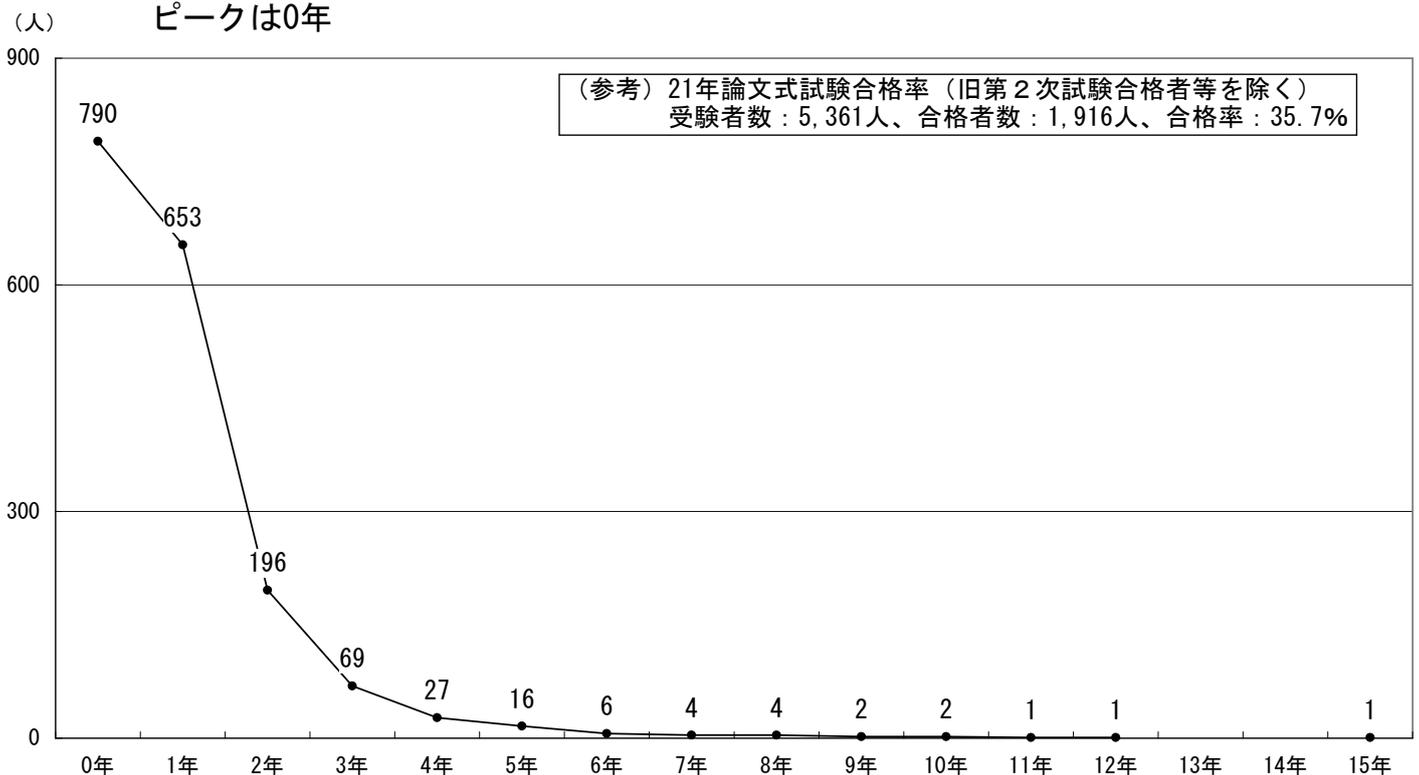
・短答式試験合格までの勉強期間の平均は2.3年、ピークは2年



### 質問5 短答式合格から論文式合格までの勉強期間

対象：全員  
 回答者数：1,772人  
 平均期間：0.9年  
 ピーク：0年

・短答式試験合格から論文式試験合格までの勉強期間の平均は0.9年、ピークは0年



質問4かつ6 経歴別短答式合格までの勉強期間

経歴	平均期間	最も人数が多い期間 (ピーク)	回答者数
在学中	1.9年	2年	540人
就職せずに勉強	2.6年	2年	663人
就職後、勉強のために退職	2.2年	2年	273人
退職後、会計士を目指した	2.4年	2年	103人
監査法人・会計事務所	2.8年	3年	84人
企業・官公庁	2.2年	1年	75人
その他	2.5年	1年	24人
合計	2.3年	2年	1,762人

(参考)21年短答式試験合格率(旧第2次試験合格者等を除く)

受験者数:17,371人、合格者数:2,289人、合格率:13.2%

質問5かつ6 経歴別短答式合格から論文式合格までの勉強期間

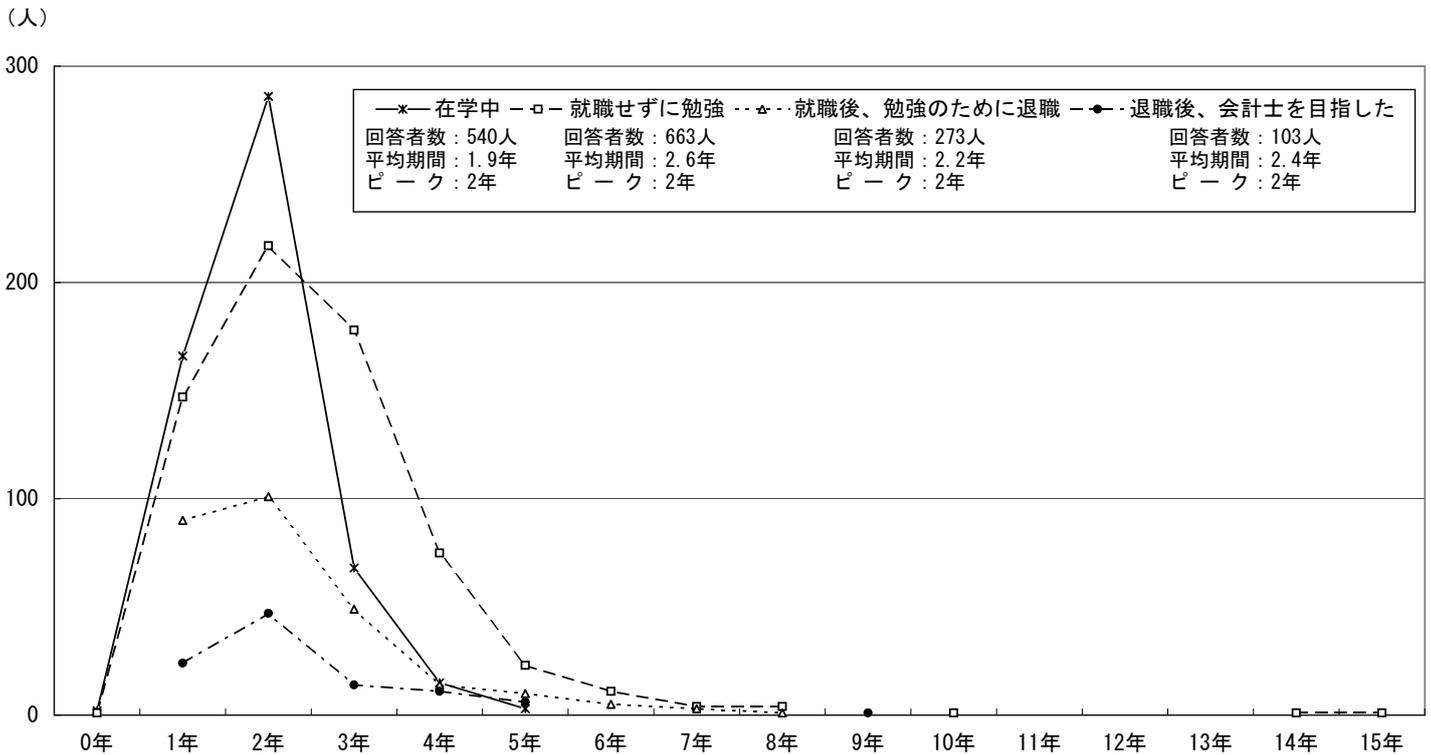
経歴	平均期間	最も人数が多い期間 (ピーク)	回答者数
在学中	0.4年	0年	541人
就職せずに勉強	1.2年	1年	663人
就職後、勉強のために退職	0.9年	0年	273人
退職後、会計士を目指した	0.9年	1年	104人
監査法人・会計事務所	2.2年	1年	83人
企業・官公庁	1.1年	1年	75人
その他	1.2年	1年	24人
合計	0.9年	0年	1,763人

(参考)21年論文式試験合格率(旧第2次試験合格者等を除く)

受験者数:5,361人、合格者数:1,916人、合格率:35.7%

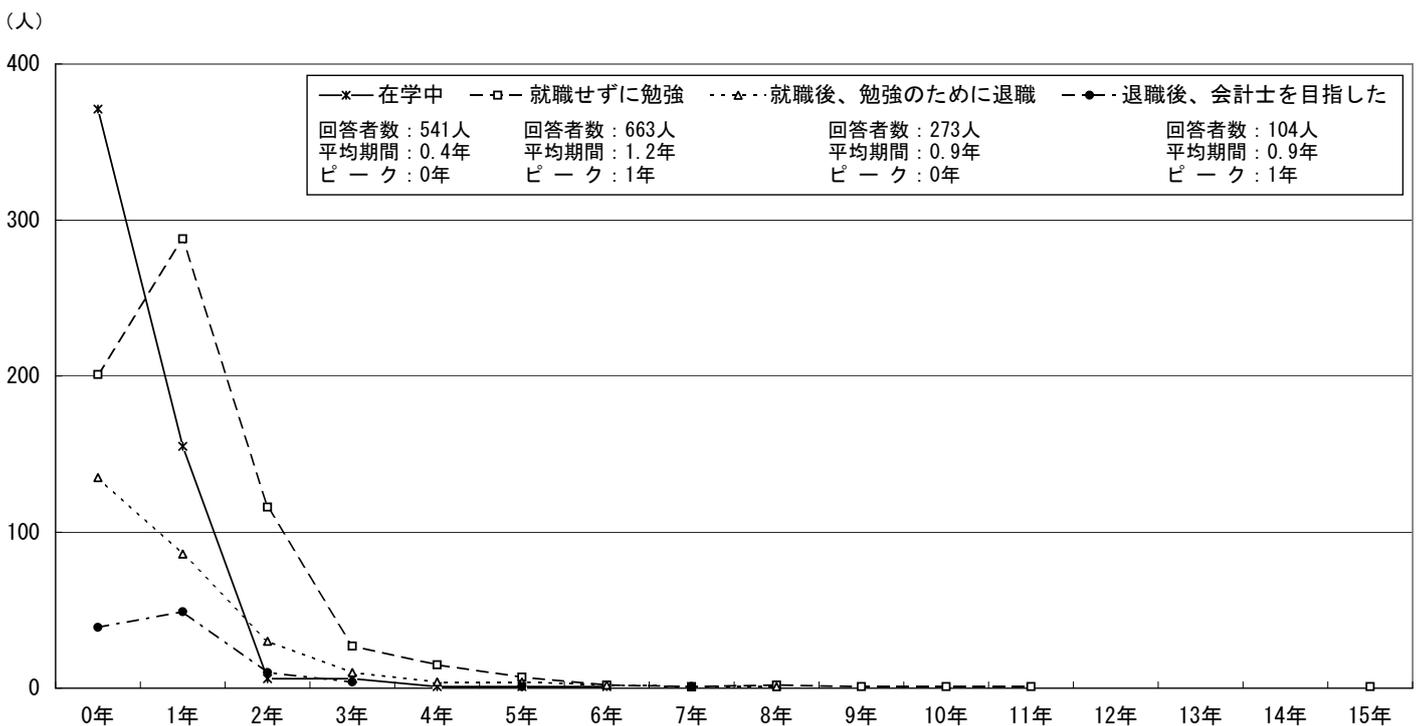
### 質問 4 かつ 6 経歴別短答式合格までの勉強期間 (学生・無職等)

対 象 : 学生、無職等  
 回答者数 : 1,579人  
 平均期間 : 2.3年  
 ピーク : 2年



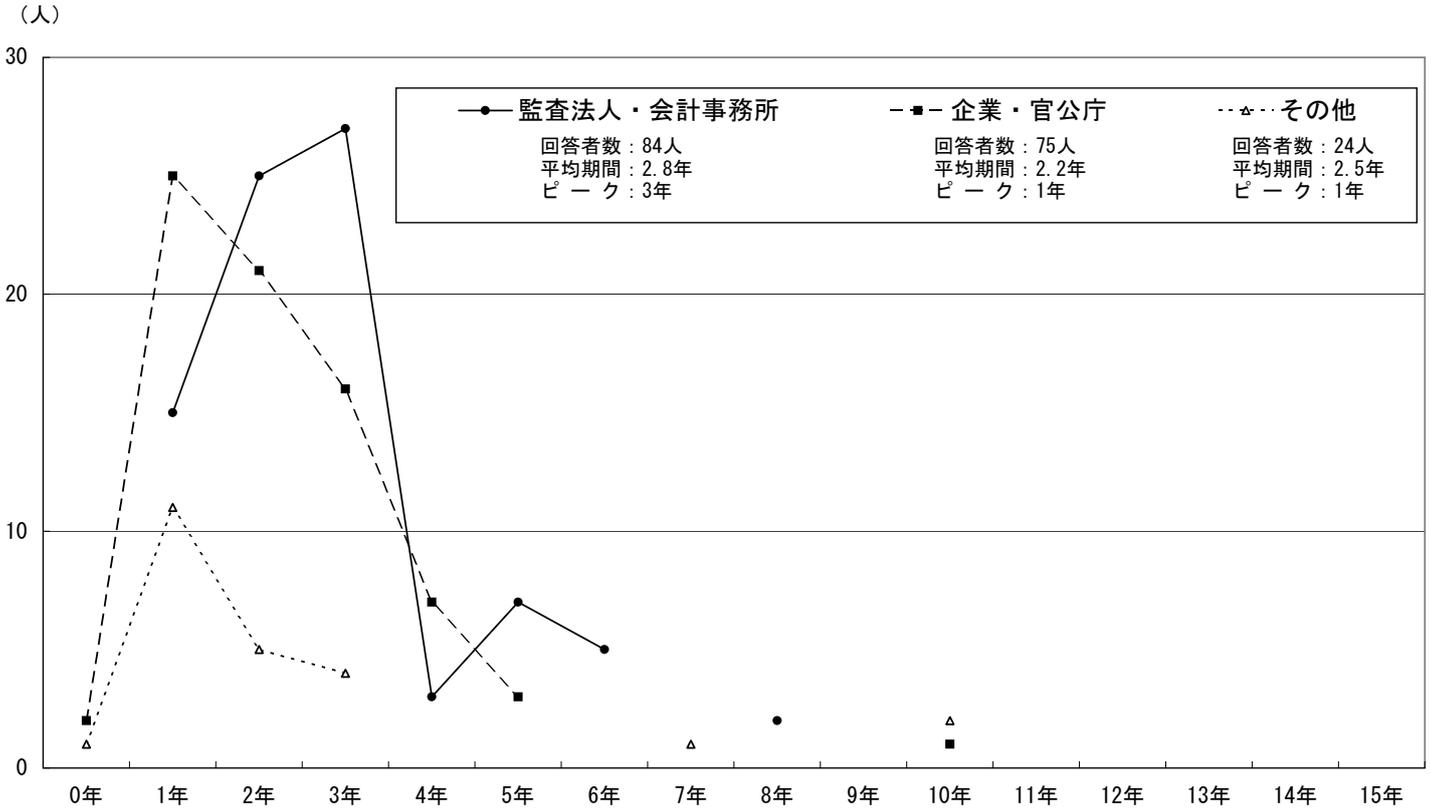
### 質問 5 かつ 6 短答式合格から論文式合格までの勉強期間 (学生・無職等)

対 象 : 学生、無職等  
 回答者数 : 1,581人  
 平均期間 : 0.8年  
 ピーク : 0年



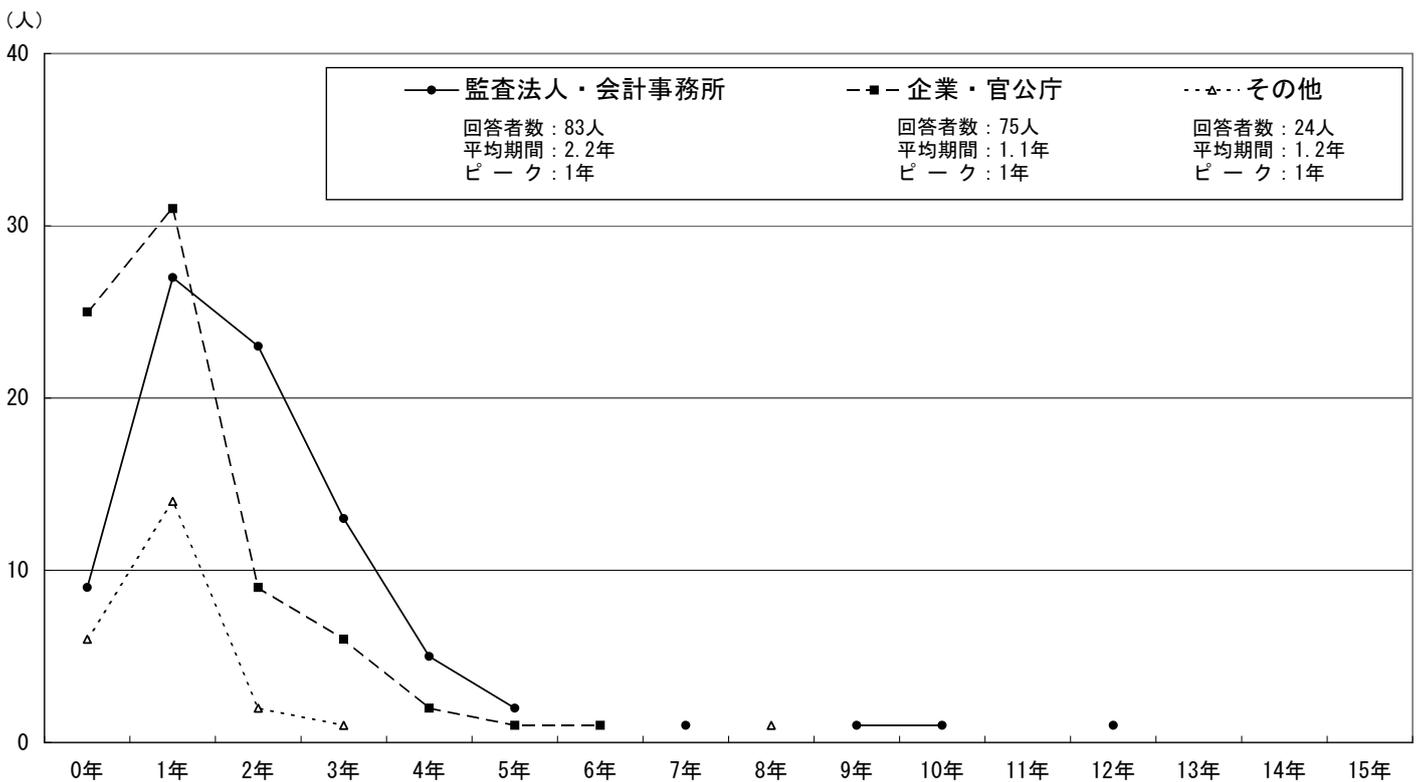
質問 4 かつ 6 経歴別短答式合格までの勉強期間 (社会人)

対 象 : 社会人  
 回答者数 : 183人  
 平均期間 : 2.6年  
 ピーク : 1/2年



質問 5 かつ 6 短答式合格から論文式合格までの勉強期間 (社会人)

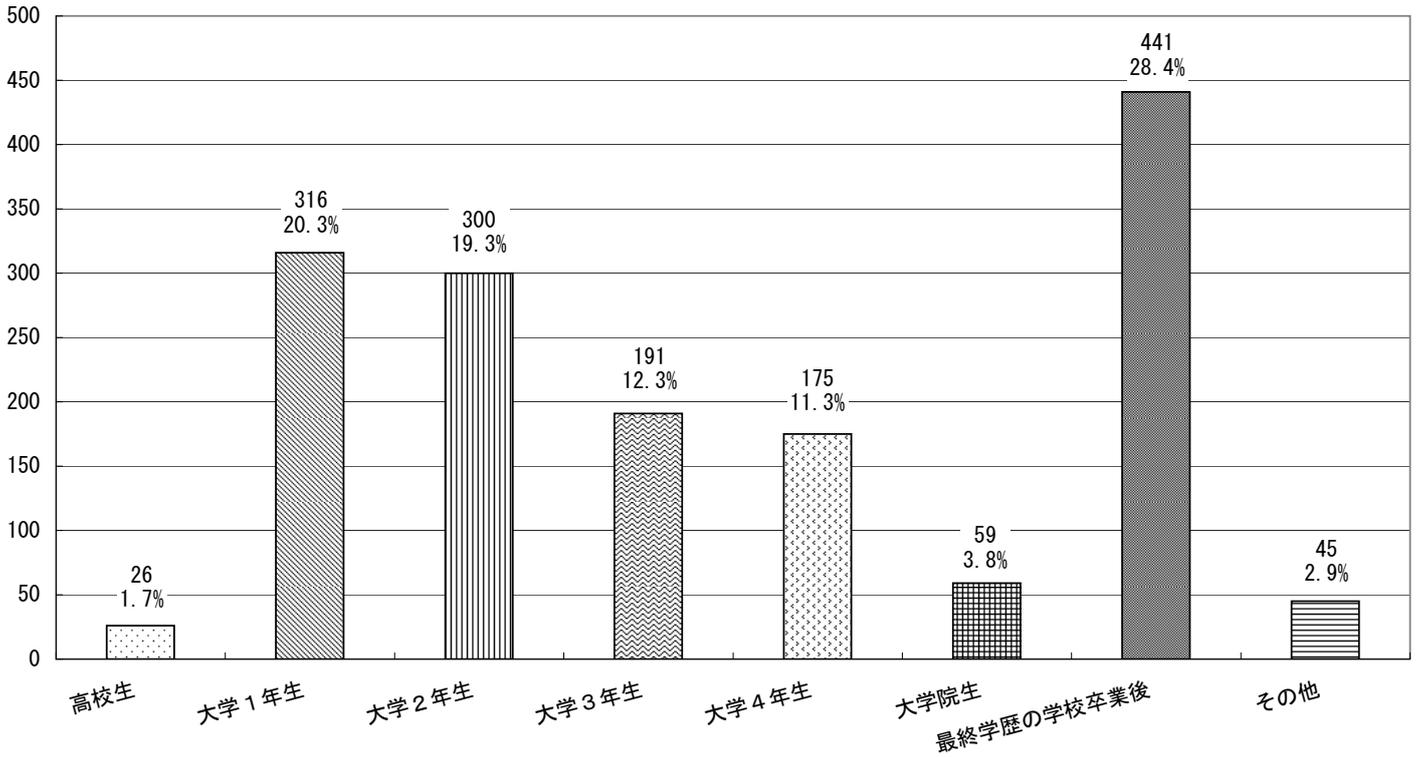
対 象 : 社会人  
 回答者数 : 182人  
 平均期間 : 1.6年  
 ピーク : 1年



### 質問19 受験勉強開始時期

対象：学生、無職等  
回答者数：1,553人

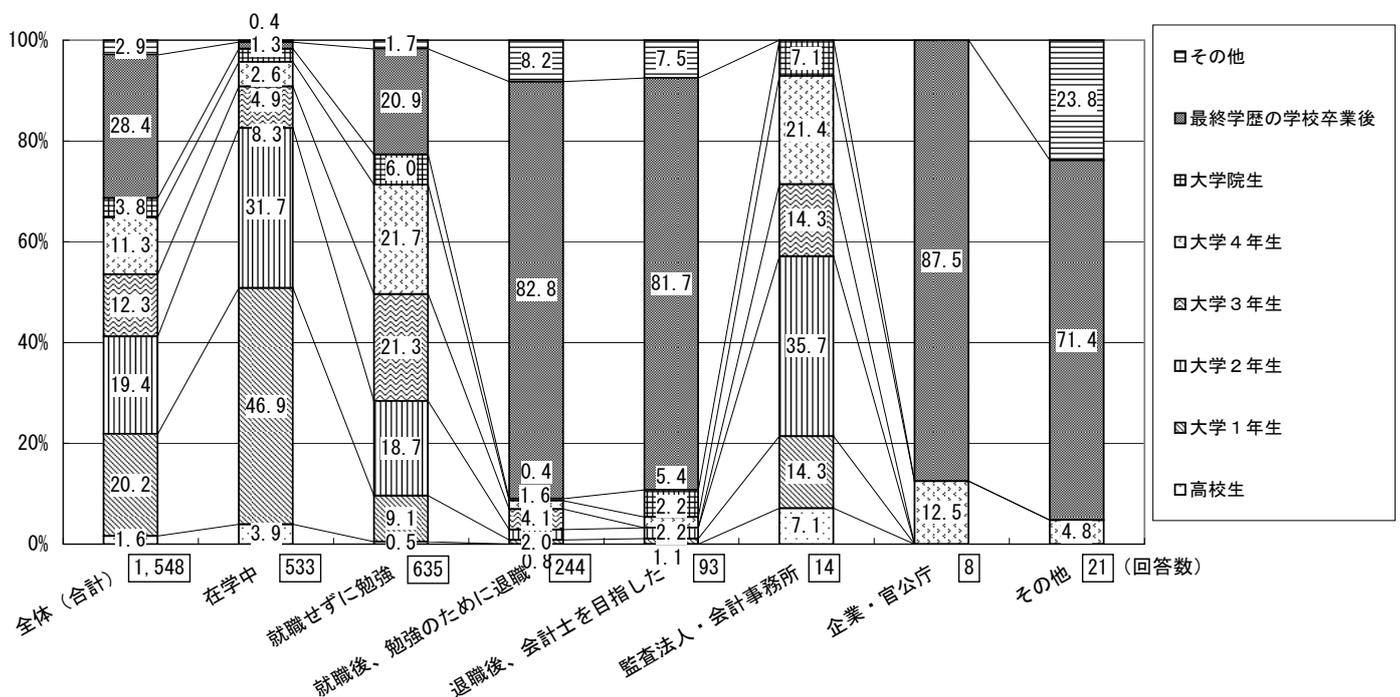
- ・ 学生・無職等の合格者が受験勉強を始めた時期としては、最終学歴の学校卒業後が28.4%、大学1年時が20.3%、大学2年時が19.3%。



### 質問6かつ19 経歴別受験勉強開始時期

対象：学生、無職等  
回答者数：1,548人

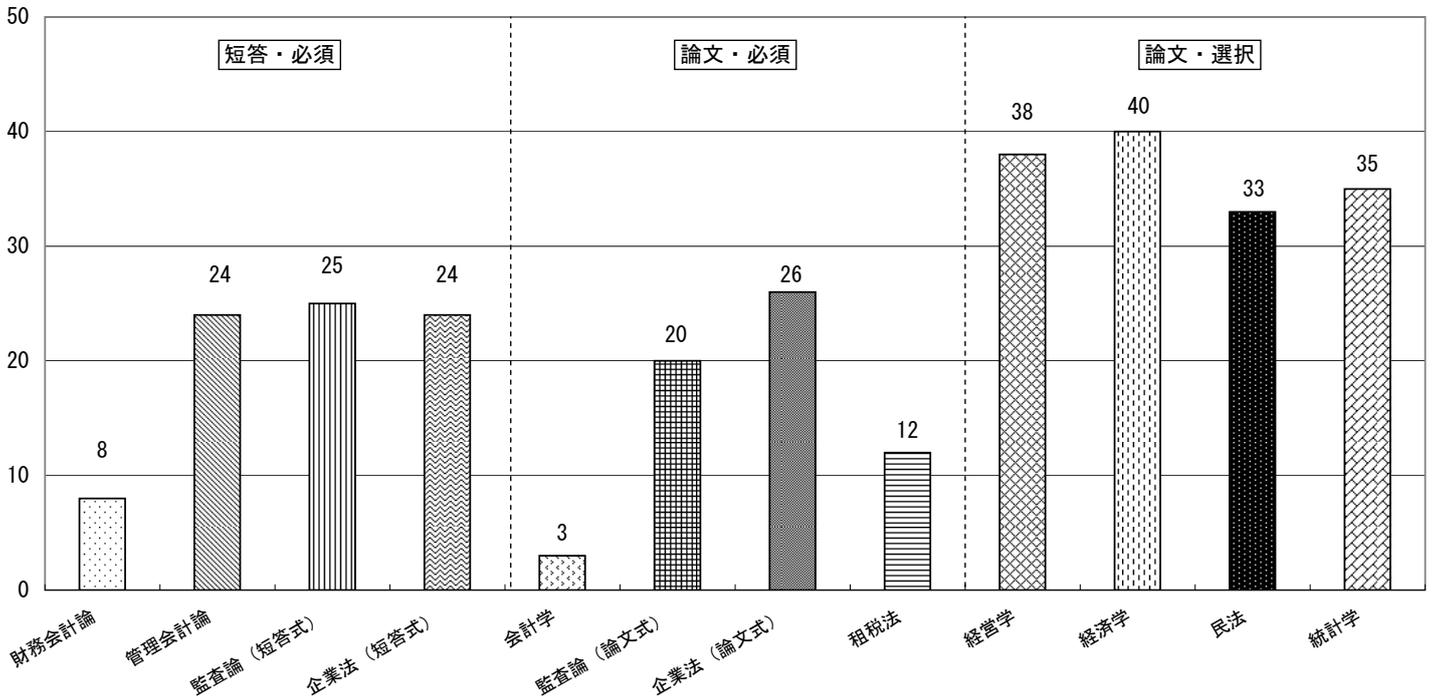
- ・ 在学中に合格した者の多くは、大学1～2年から受験勉強を開始。
- ・ 卒業後、就職せずに合格した者の多くは、大学2～4年から、または卒業後に受験勉強を開始。
- ・ 就職後、退職して合格した者の多くは、卒業後に受験勉強を開始。



質問14 業務上必要性の低い試験科目  
(複数回答)

対象：社会人  
回答者数：119人  
総回答数：288

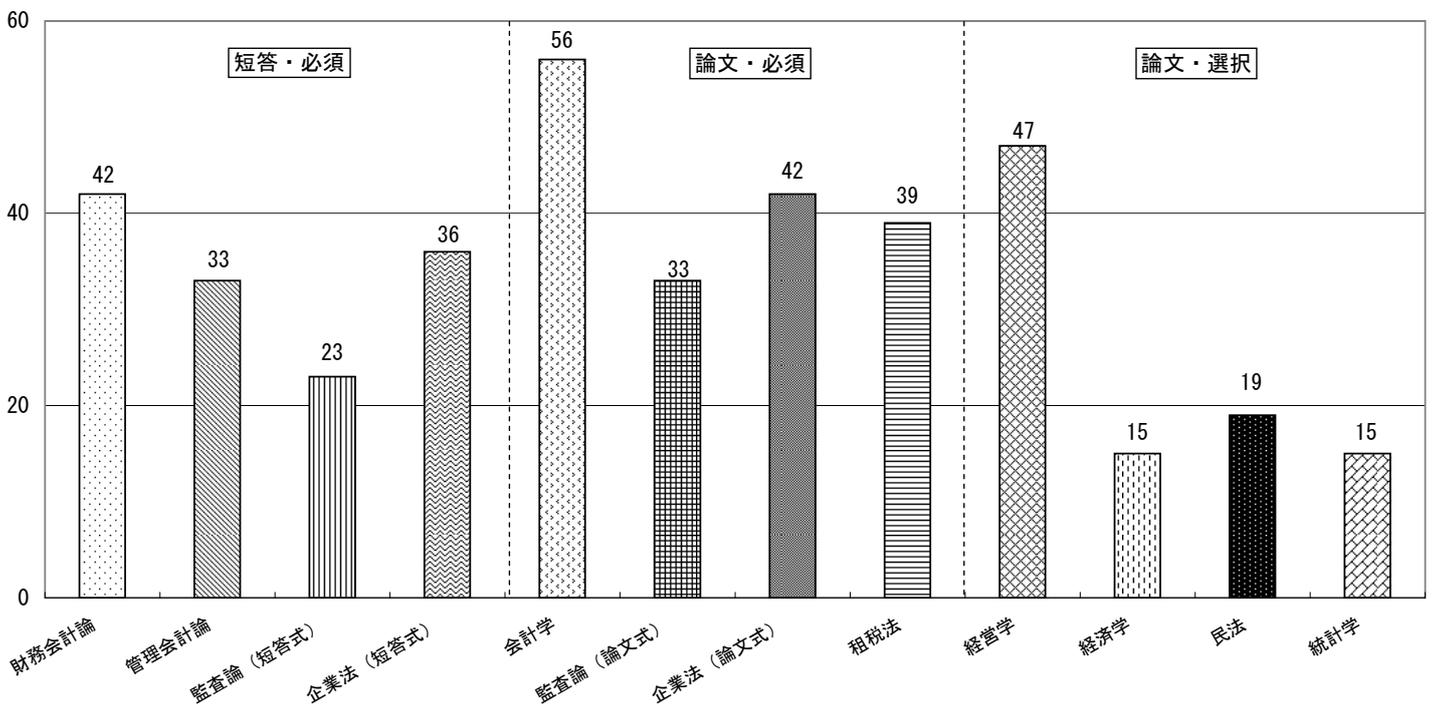
- ・ 総じて、選択式科目の必要性が低い。
- ・ 会計学、財務会計論の必要性が高い。



質問15 難易度が高い試験科目  
(複数回答)

対象：社会人  
回答者数：120人  
総回答数：400

- ・ 会計学、経営学、企業法 (論文式)、財務会計論の難易度が高い。



質問14 業務上必要性の低い試験科目  
(上位5科目)

対象：社会人  
回答者数：119人  
総回答数：288

- ・監査法人等職員（会計士候補）では、経営学、企業法、経済学などの回答が多い。
- ・会社員・公務員では、経済学、統計学、監査論などの回答が多い。

全員			監査法人等職員 (会計士候補)			会社員・公務員		
経済学	※	40	経営学	※	25	経済学	※	19
経営学	※	18	企業法（論文）	○	18	統計学	※	19
統計学	※	17	経済学	※	17	監査論（短答）		15
民法	※	17	民法	※	17	監査論（論文）	○	14
企業法（論文）	○	16	企業法（短答）		16	民法	※	10
回答者数		119	回答者数		60	回答者数		38
回答数		288	回答数		135	回答数		101

(注) 「○」は論文式試験必須科目、「※」は論文式試験選択科目、無印は短答式試験必須科目

質問15 難易度が高い試験科目  
(上位5科目)

対象：社会人  
回答者数：120人  
総回答数：400

- ・監査法人等職員（会計士候補）では、経営学、会計学、企業法などの回答が多い。
- ・会社員・公務員では、会計学、財務会計論、監査論などの回答が多い。

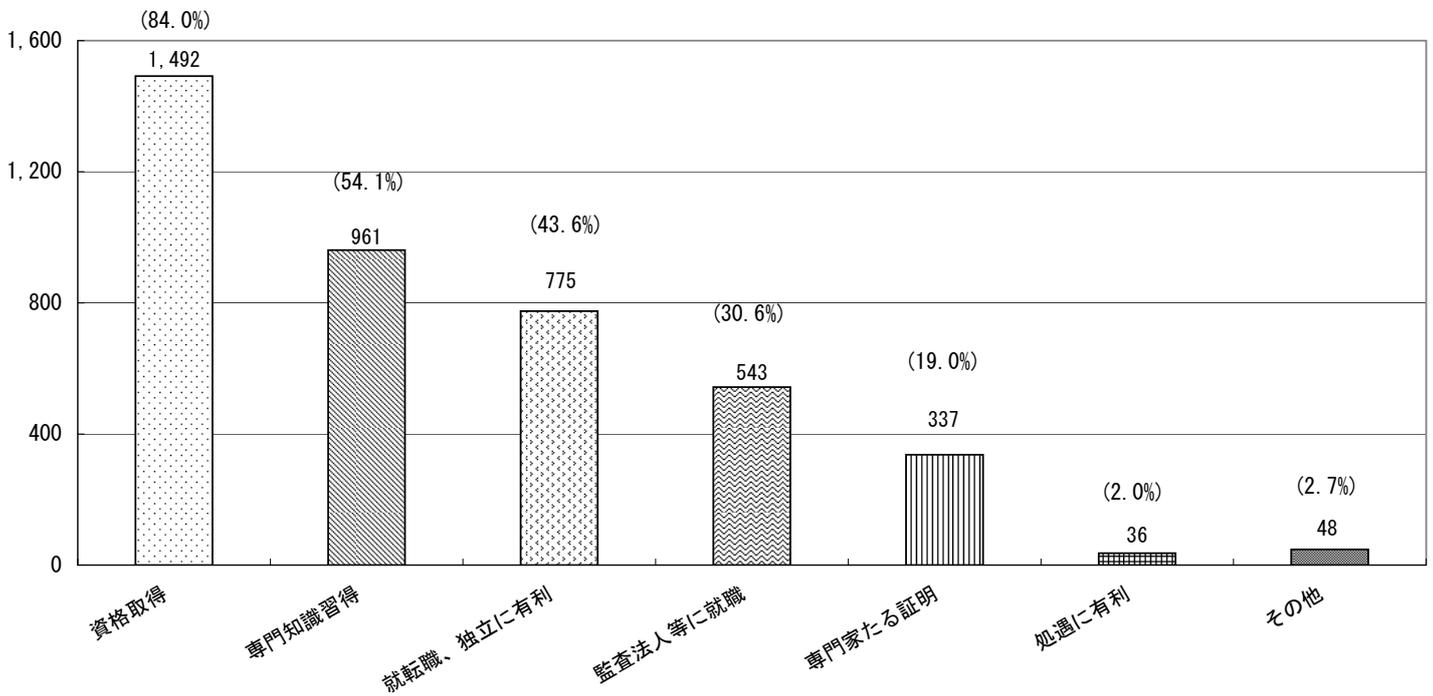
全員			監査法人等職員 (会計士候補)			会社員・公務員		
会計学	○	56	経営学	※	28	会計学	○	23
経営学	※	47	会計学	○	24	財務会計論		21
企業法（論文）	○	42	企業法（論文）	○	21	監査論（論文）	○	18
財務会計論		42	企業法（短答）		18	租税法	○	18
租税法	○	39	租税法	○	17	管理会計論		16
回答者数		120	回答者数		59	回答者数		37
回答数		400	回答数		169	回答数		153

(注) 「○」は論文式試験必須科目、「※」は論文式試験選択科目、無印は短答式試験必須科目

### 質問7 受験動機（複数回答）

対象：全員  
回答者数：1,776人  
総回答数：4,192

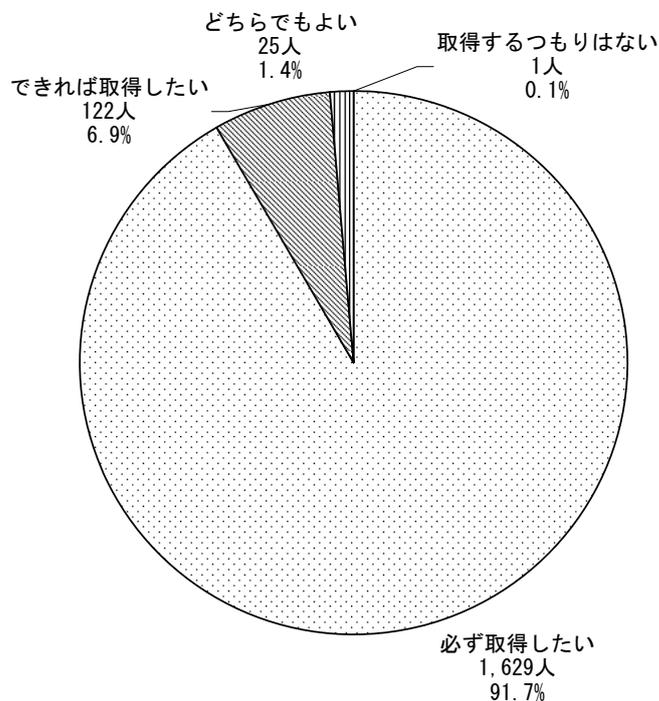
- ・ 公認会計士試験を受験した動機として、公認会計士資格の取得を挙げた者が84.0%



### 質問8 資格取得意思

対象：全員  
回答者数：1,777人

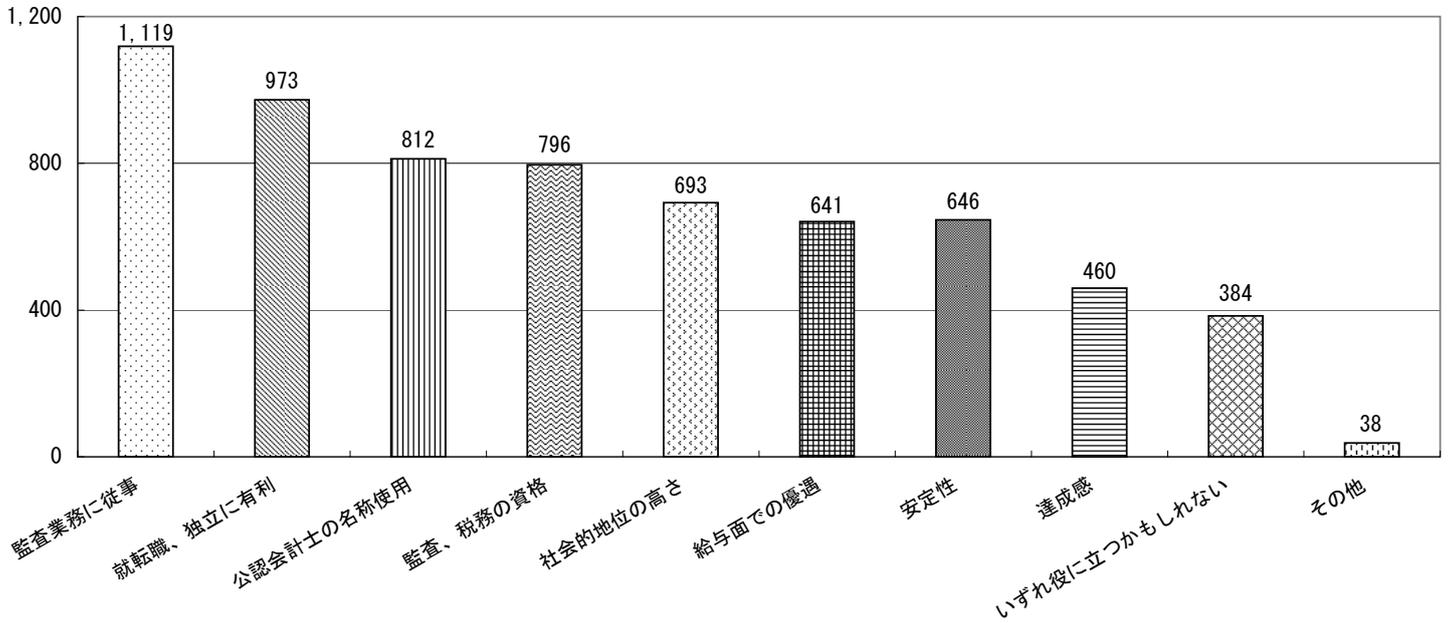
- ・ ほとんど全ての合格者(98.5%)が公認会計士資格を必ず取得したい、または、できれば取得したいと回答



## 質問9 資格取得理由（複数回答）

対象：全員  
回答者数：1,746人  
総回答数：6,562

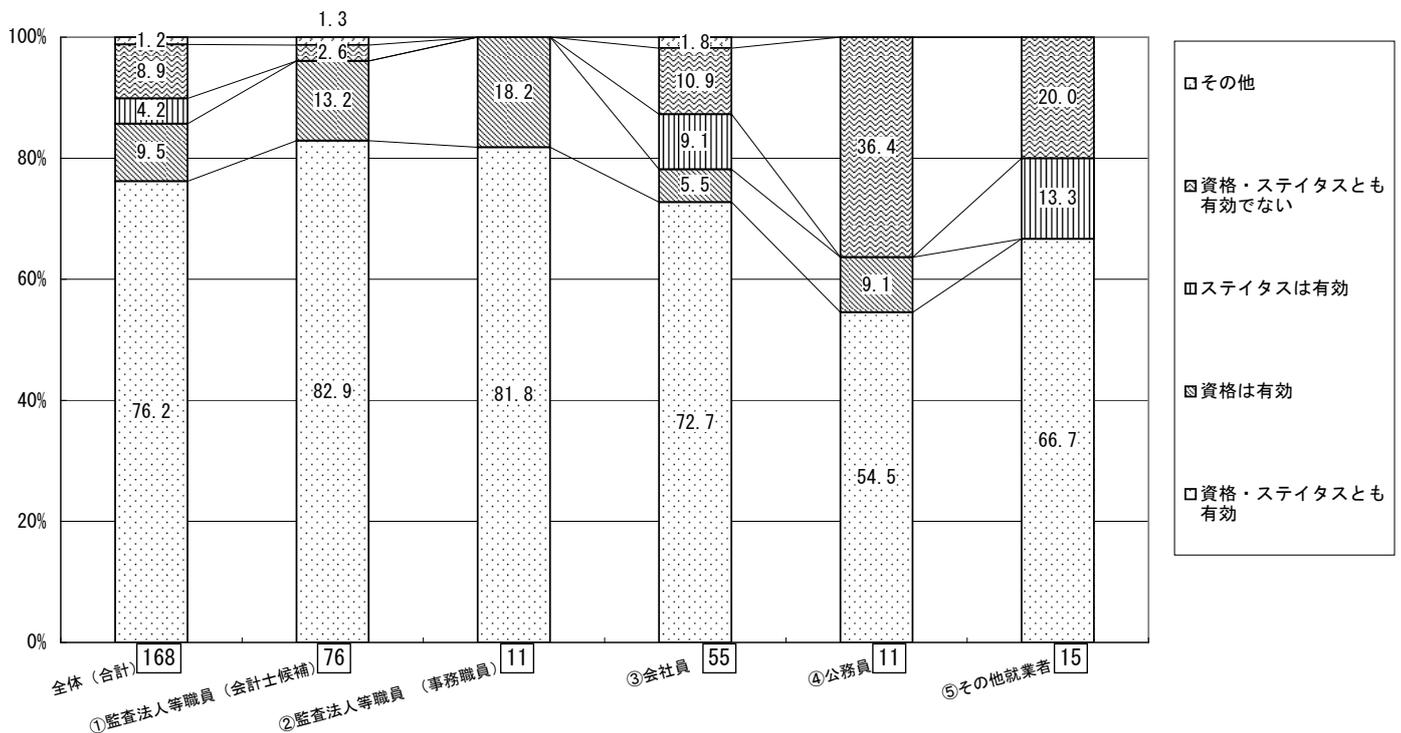
- ・公認会計士資格を取得したい理由として、「監査業務に従事するため」、「就職・転職・独立に有利なため」、「合格だけでは公認会計士と名乗ることができないため」、「監査業務資格、税務業務資格などの特別な資格が得られるため」などの回答が多い。



## 質問10かつ16 職業別資格・ステイタスの有効性

対象：社会人  
回答者数：168人

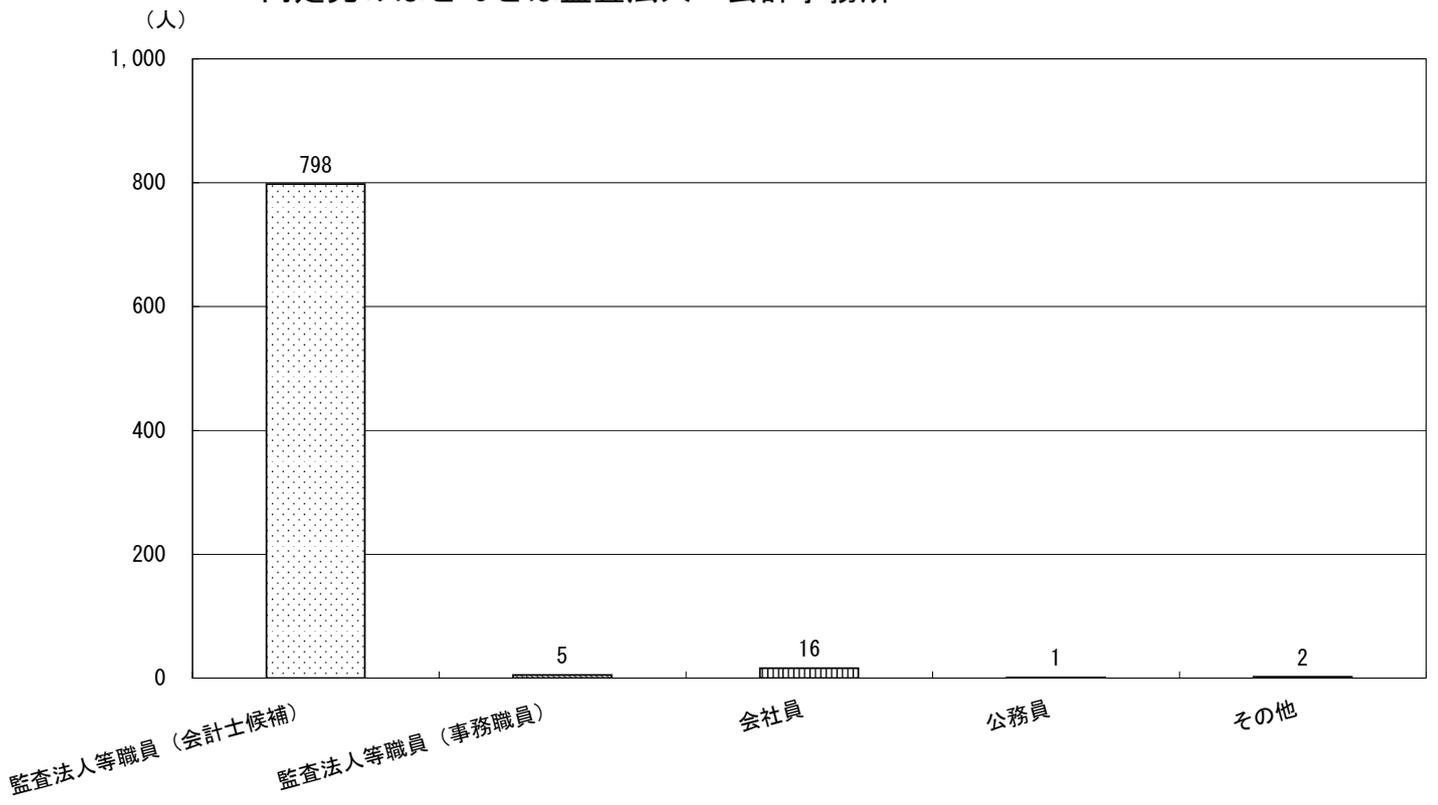
- ・全ての職業において、資格・ステイタスともに有効との回答が過半数を占めるが、会社員・公務員・その他の就業者では、資格・ステイタスともに有効でない、または、ステイタスは有効との回答が一定程度ある。



## 質問21 内定先

対象：内定者  
回答者数：822人  
平均年齢：24.8歳

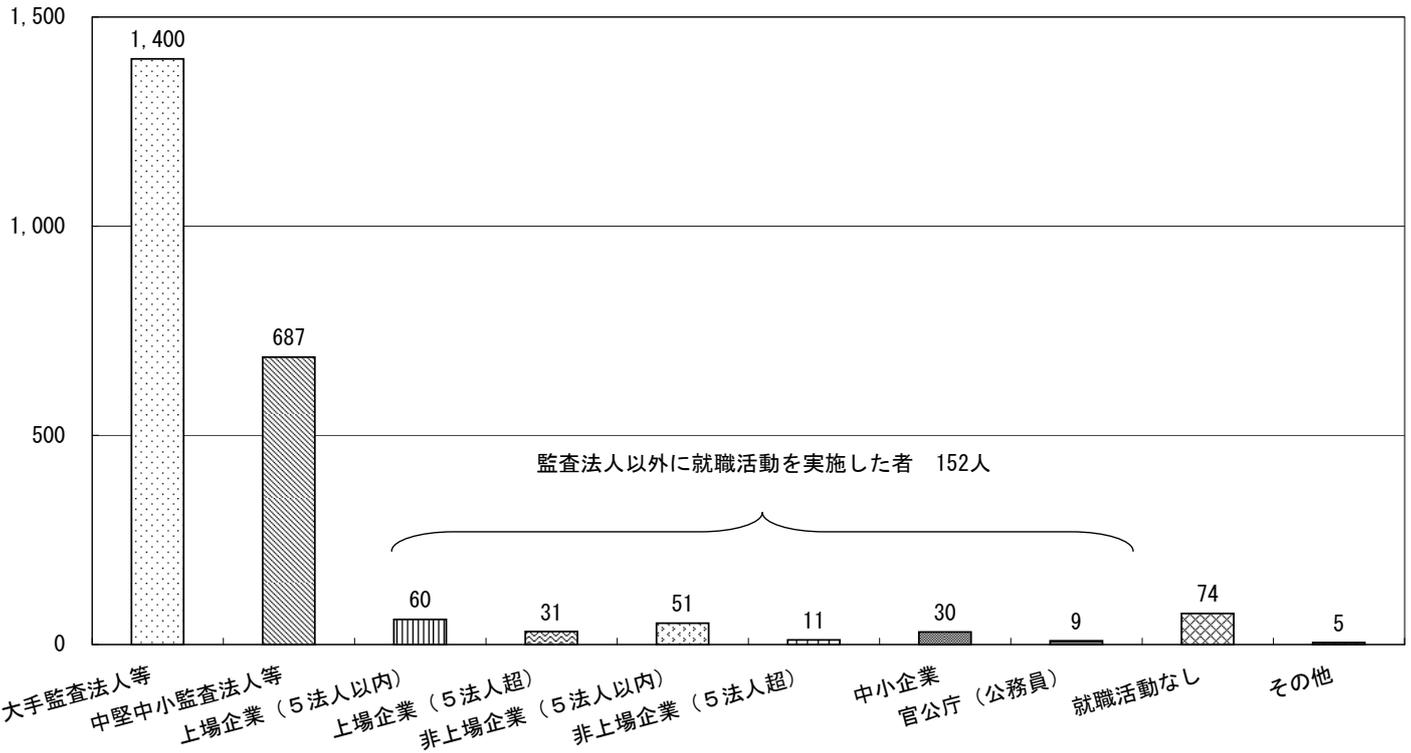
・内定先のほとんどは監査法人・会計事務所



### 質問23 就職活動実施状況（複数回答）

対象：学生、無職等  
 回答者数：1,534人  
 総回答数：2,358  
 平均年齢：25.3歳

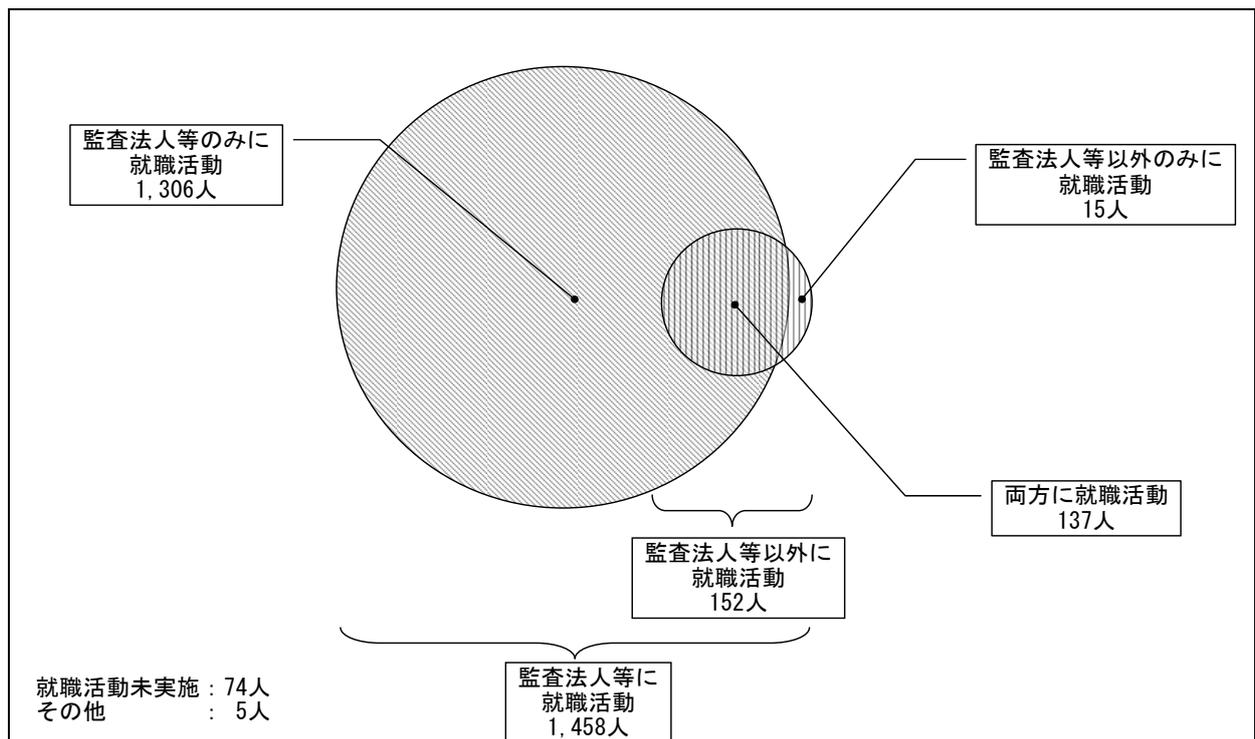
- ・ 監査法人に就職活動を実施した者は全回答者の94%
- ・ 監査法人以外に就職活動を実施した者は全回答者の10%



### 23 就職活動実施状況

対象：学生、無職等  
 回答者数：1,534人  
 平均年齢：25.3歳

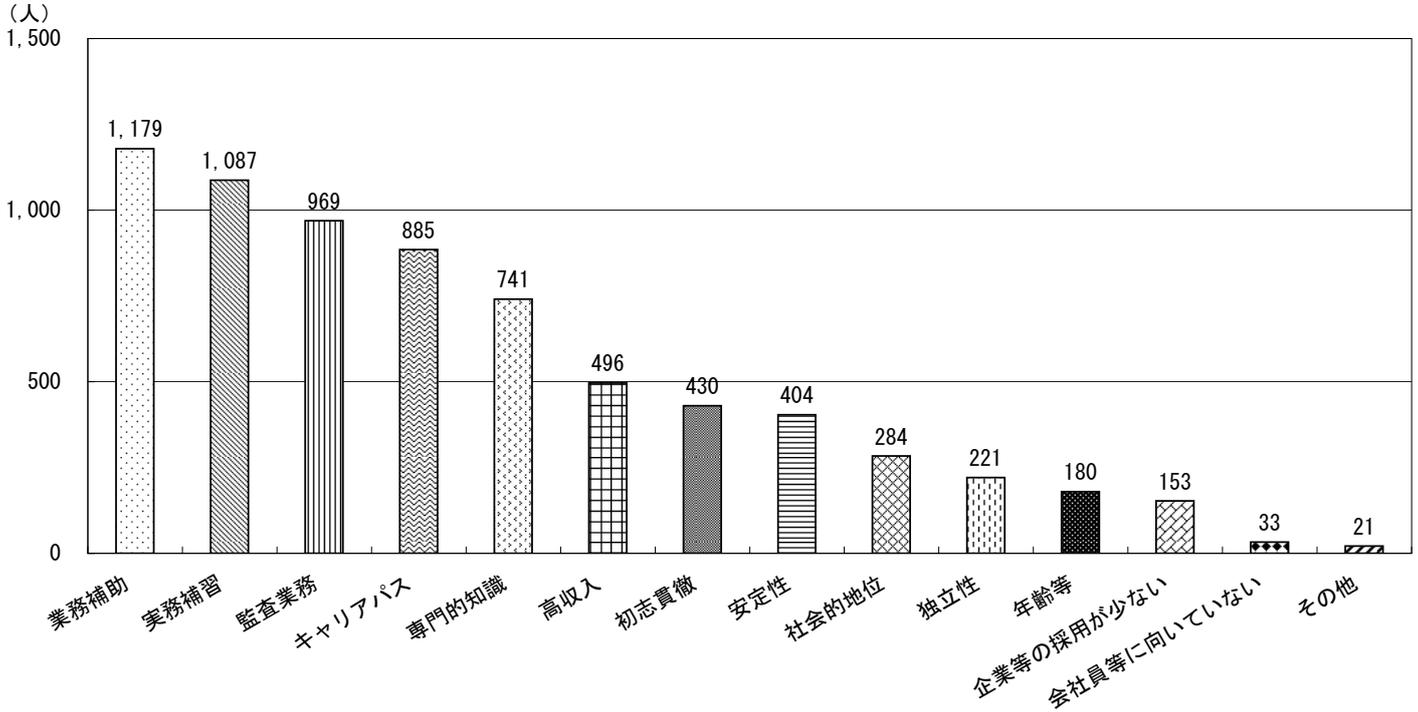
- ・ ほとんどの者は監査法人等のみに就職活動を実施



## 質問24 監査法人等を希望する理由（複数回答）

対象：監査法人等  
就職希望者  
回答者数：1,508人  
総回答数：7,083

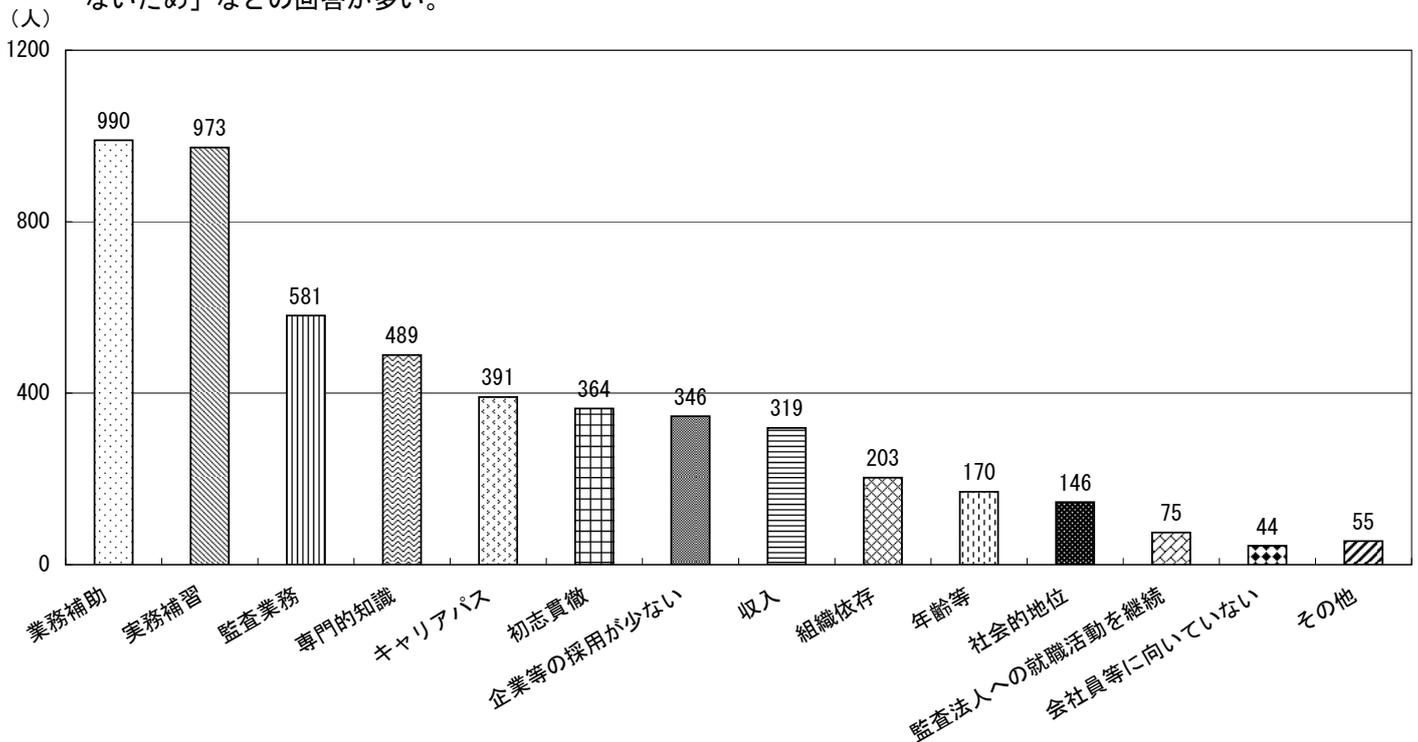
- ・監査法人等に就職を希望する理由としては、「業務補助等の要件を満たしやすいため」「実務補習所に通所しやすいため」「監査業務を行いたいため」「将来のキャリアパス構築の観点から有益な経験が得られるため」「専門的な知識を生かせるため」などの回答が多い。



## 質問25 企業や官公庁等を希望しない理由（複数回答）

対象：監査法人等  
就職希望者  
回答者数：1,477人  
総回答数：5,146

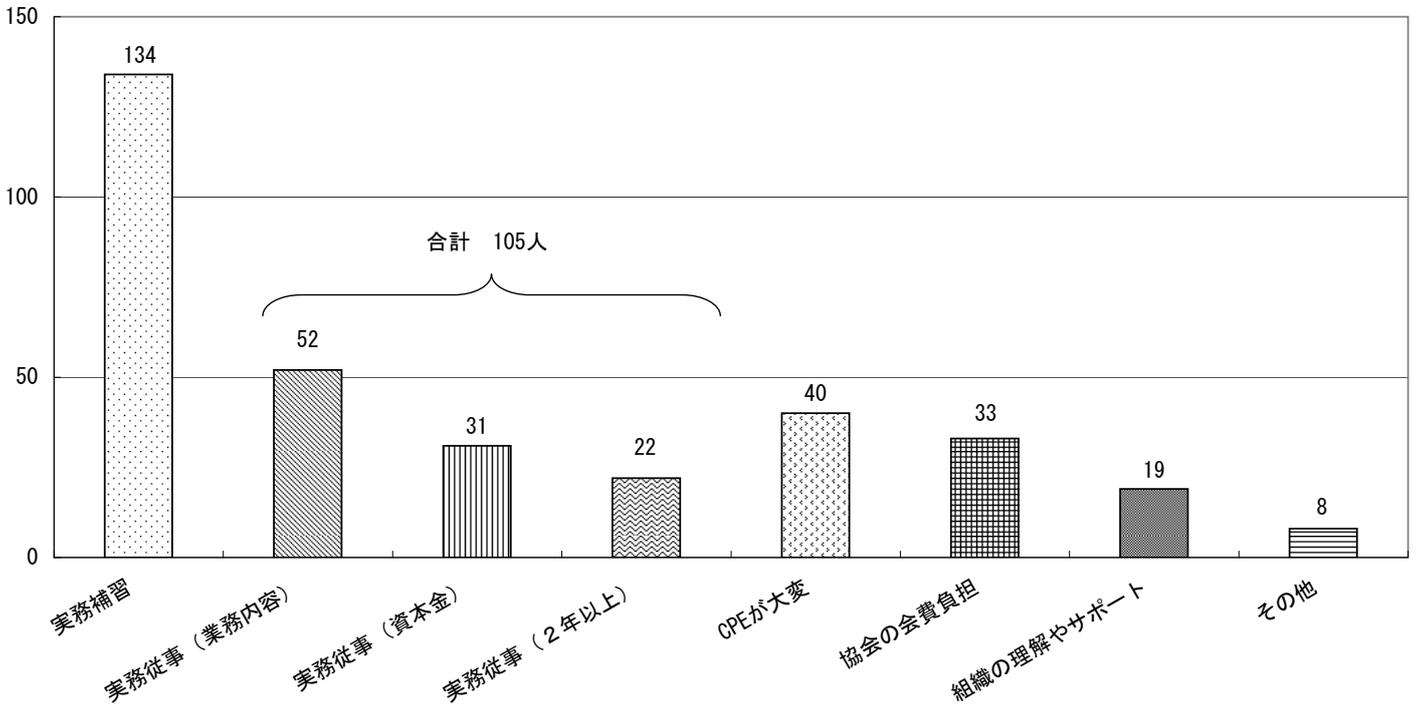
- ・監査法人等以外の就職先を希望しない理由としては、「業務補助等の要件を満たしにくい」「実務補習所に通所しにくい」「監査業務が行えない」「専門的知識が有効に活用できない」などの回答が多い。



## 質問17 資格を取得・維持する上での障害 (複数回答)

対 象：社会人  
回答者数：155人  
総回答数：339

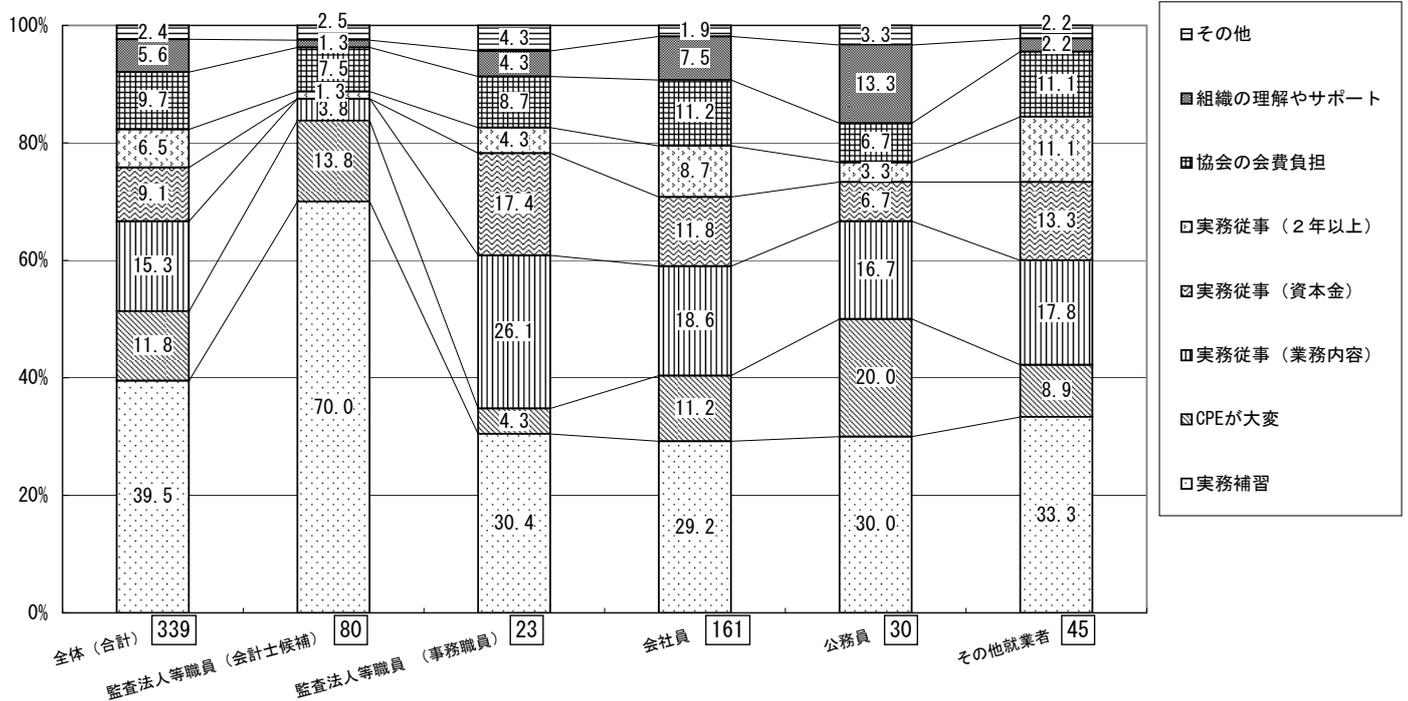
- ・仕事を続けながら公認会計士資格を取得・維持する上での障害として、「実務補習所に通うのが大変」、「実務従事の要件を満たすことが難しい」などの回答が多い。



## 質問10から17 職業別資格を取得・維持する上での障害 (複数回答)

対 象：就職者  
回答者数：155人  
総回答数：339

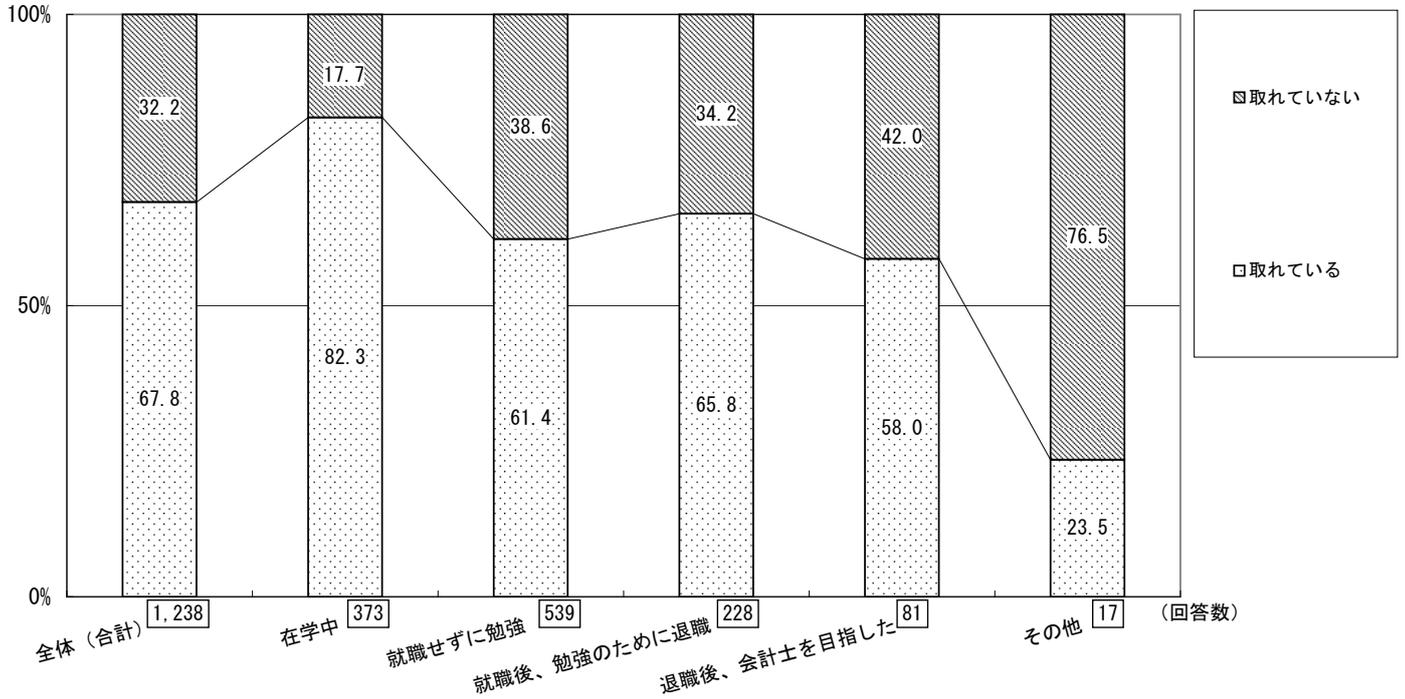
- ・監査法人等職員（会計士候補）では、「実務補習所に通うのが大変」との回答が多く、その他の職業では、「実務補習所に通うのが大変」、「実務従事の要件を満たすことが難しい」との回答が多い。



### 質問 6 かつ 2 0 経歴別内定取得状況

対象：学生、無職等の  
就職希望者  
回答者数：1,238人

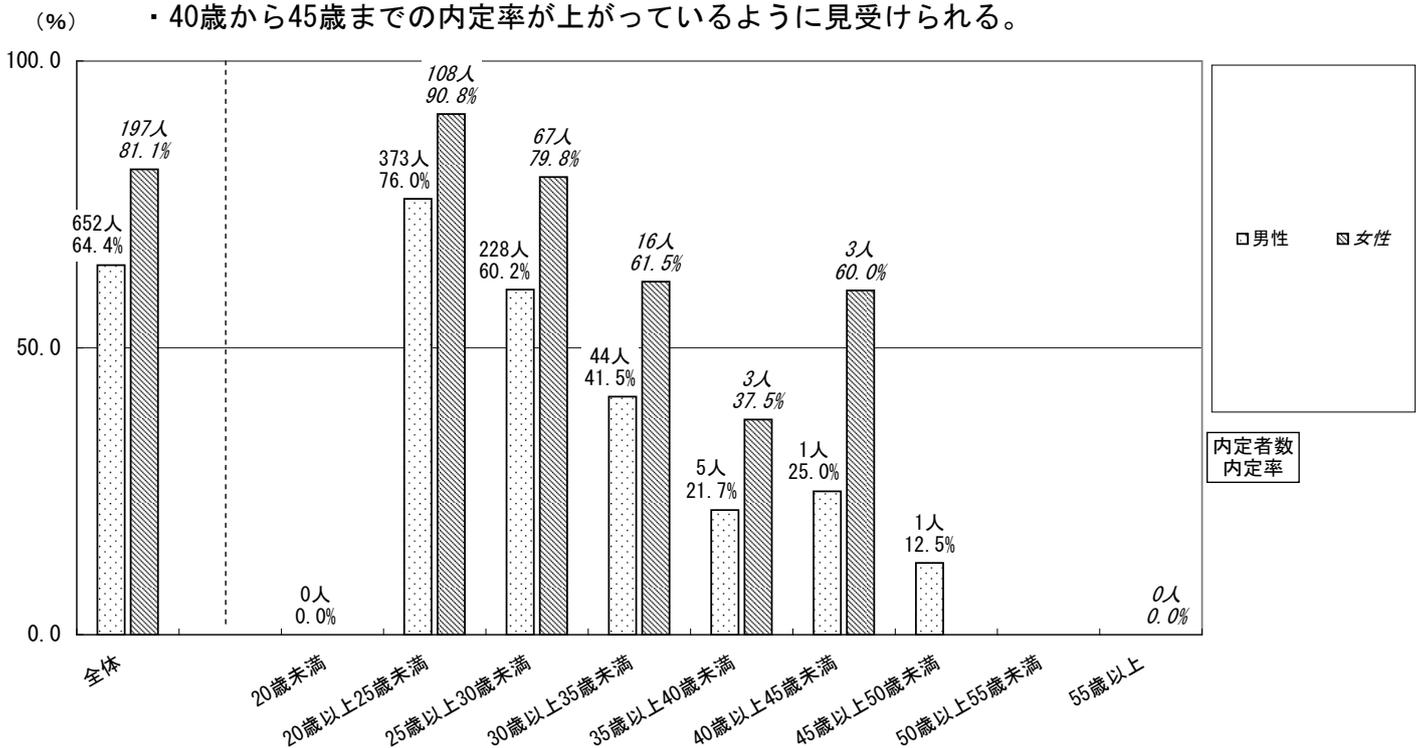
- ・ 在学中に合格した者は、相対的に内定が取れている割合が高い。
- ・ 卒業後、就職せずに、または、一旦就職したが退職後、会計士を目指して合格した者は、相対的に内定が取れていない割合が高い。



### 質問 1 かつ 2 かつ 20 男女・年齢別内定率

対象：学生、無職等の  
就職希望者  
回答者数：1,255人  
平均年齢：25.6歳

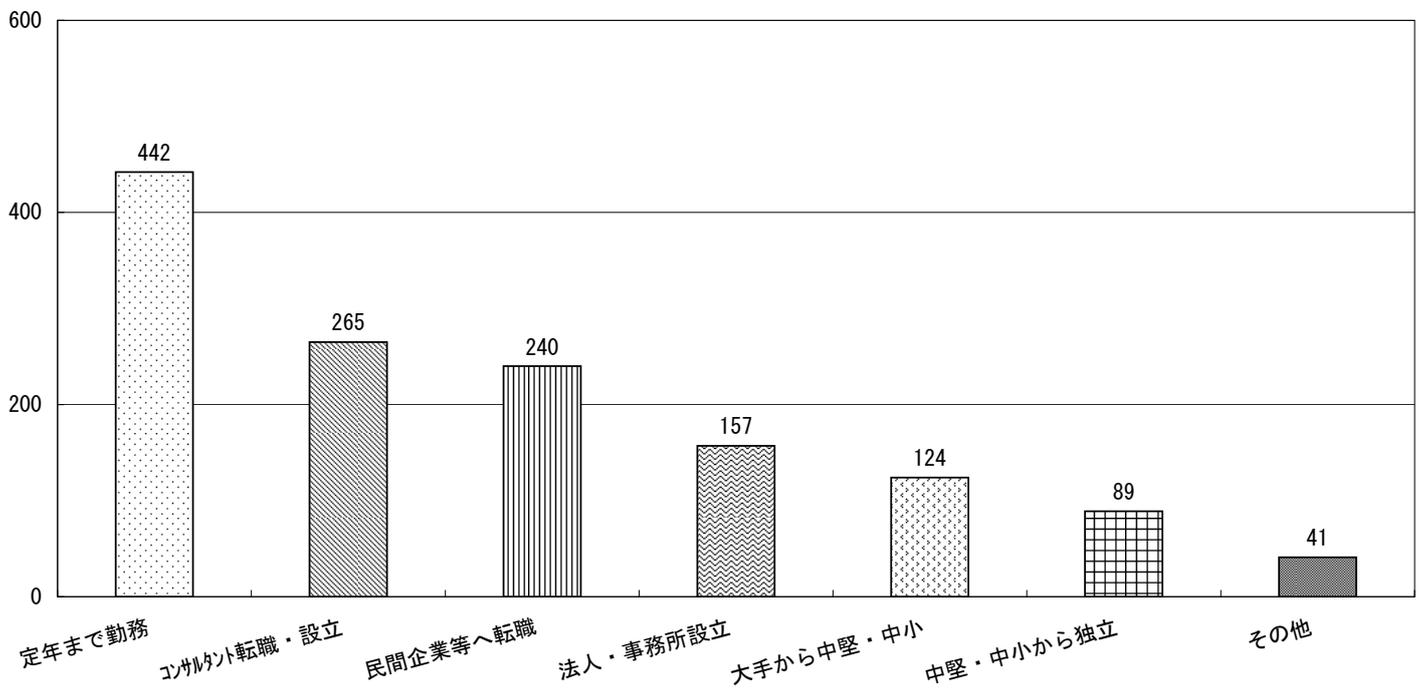
- ・ 基本的に年齢層が高いほど、内定率は低い。
- ・ 全年齢層において、女性のほうが内定率が高い。
- ・ 40歳から45歳までの内定率が上がっているように見受けられる。



## 質問26 監査法人等就職後のキャリアパス（複数回答）

対 象： 監査法人等  
 内定者  
 回答者数： 781人  
 総回答数： 1,358

- ・ 監査法人等に就職した後のキャリアパスについては、「定年まで同一監査法人等に勤務」との回答が最も多く、次いで「コンサルタント会社へ転職・設立」「民間企業等に就職」との回答が多い。

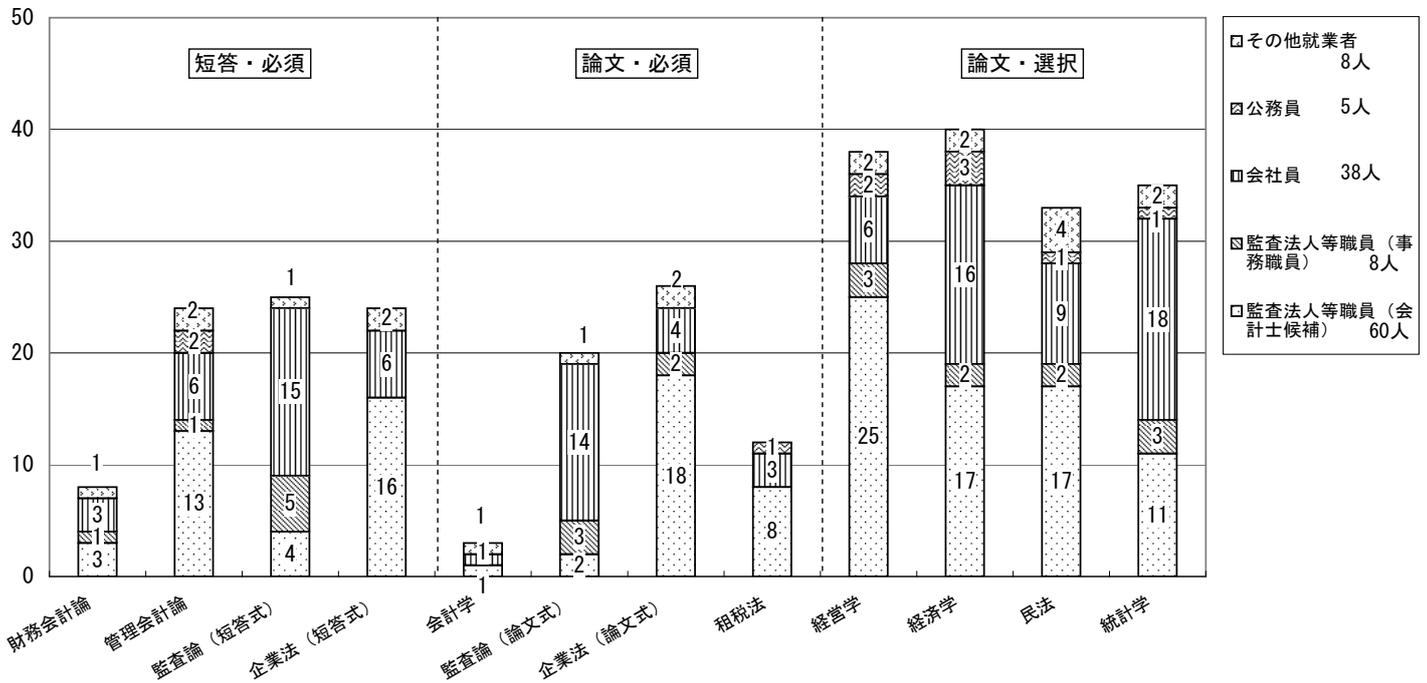


## 合格者アンケート調査結果（参考）

質問14かつ10 業務上必要性の低い試験科目  
(職業別・複数回答)

対象：社会人  
回答者数：119人  
総回答数：288

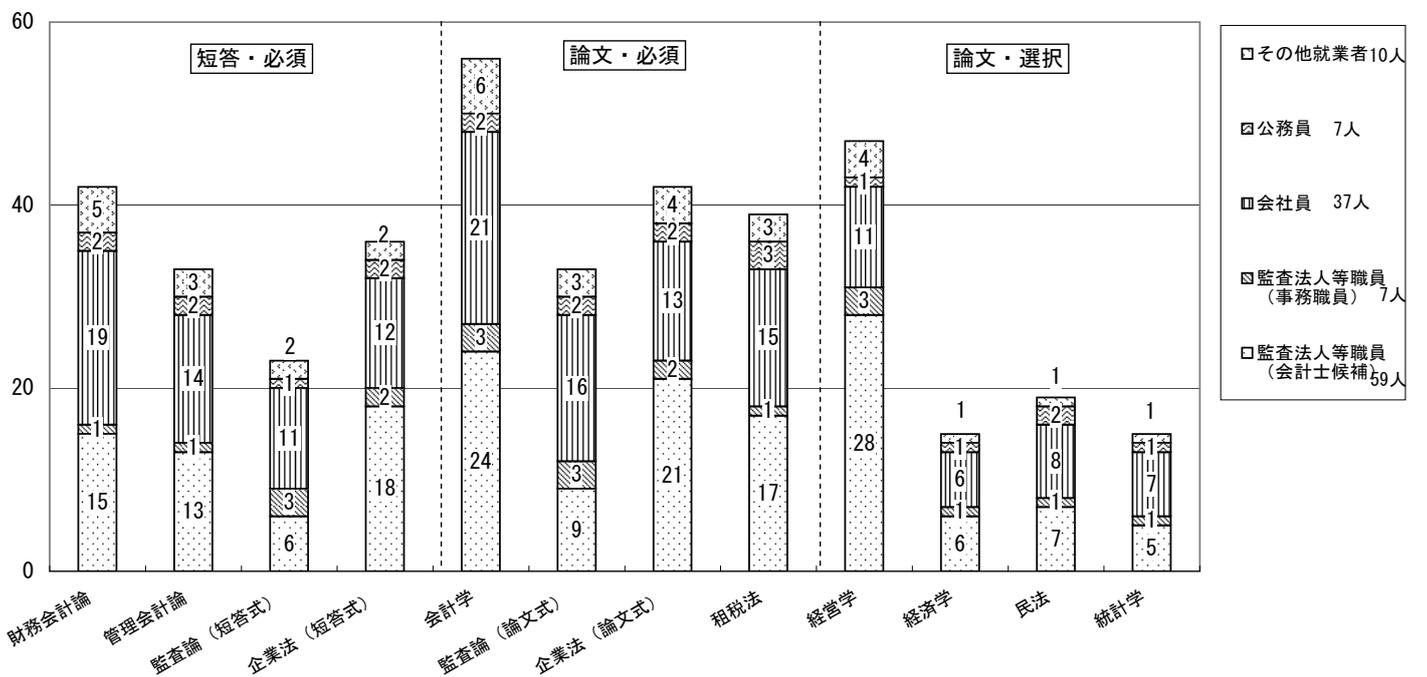
- ・ 監査法人等職員（会計士候補）では、論文式の選択科目に加えて、企業法を挙げた者が多い。
- ・ 会社員では、論文式の選択科目に加えて、監査論を挙げた者が多い。



質問15かつ10 難易度が高い試験科目  
(職業別・複数回答)

対象：社会人  
回答者数：120人  
総回答数：400

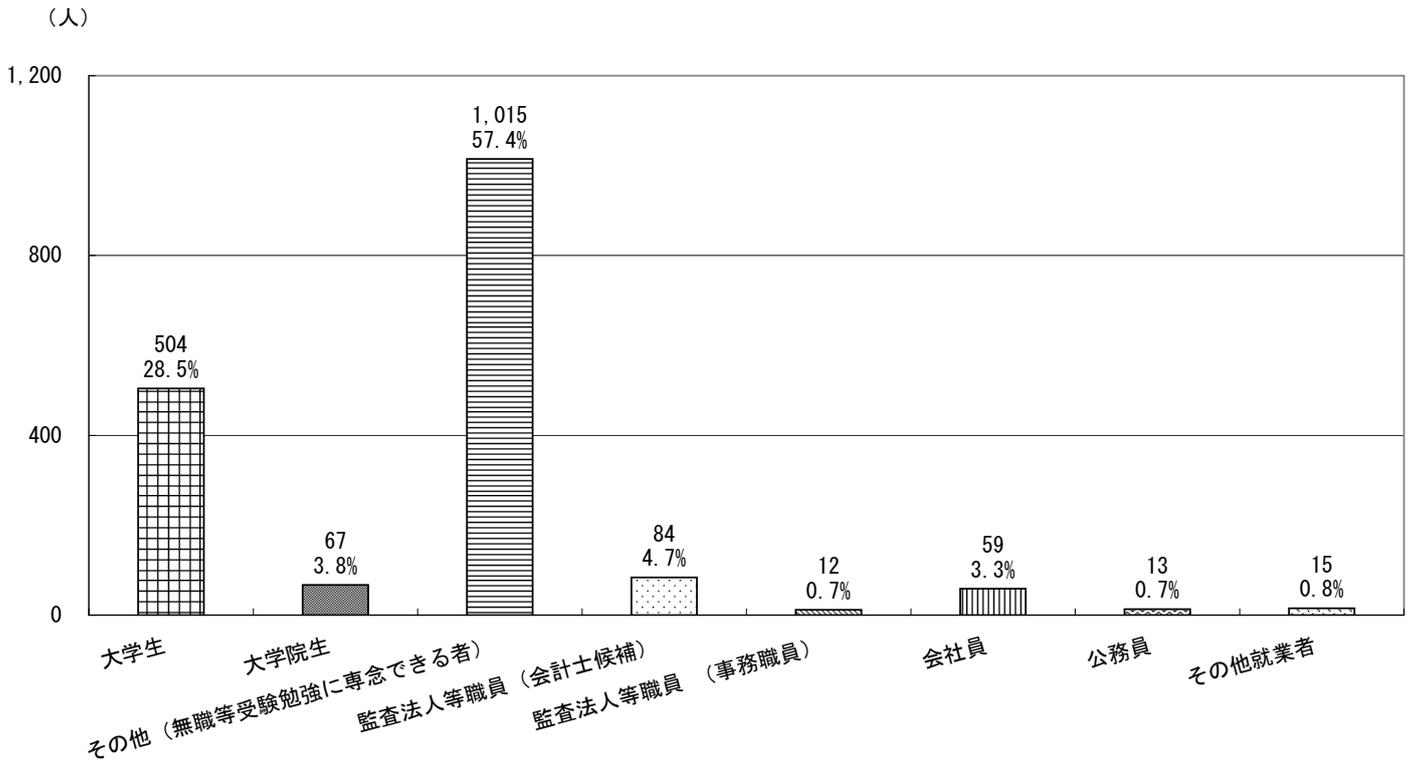
- ・ 監査法人等職員（会計士候補）では、経営学、会計学、企業法などの回答が多い。
- ・ 会社員では、会計学、監査論、租税法などの回答が多い。



### 質問10 論文式試験受験時の職業

対象：全員  
回答者数：1,769人

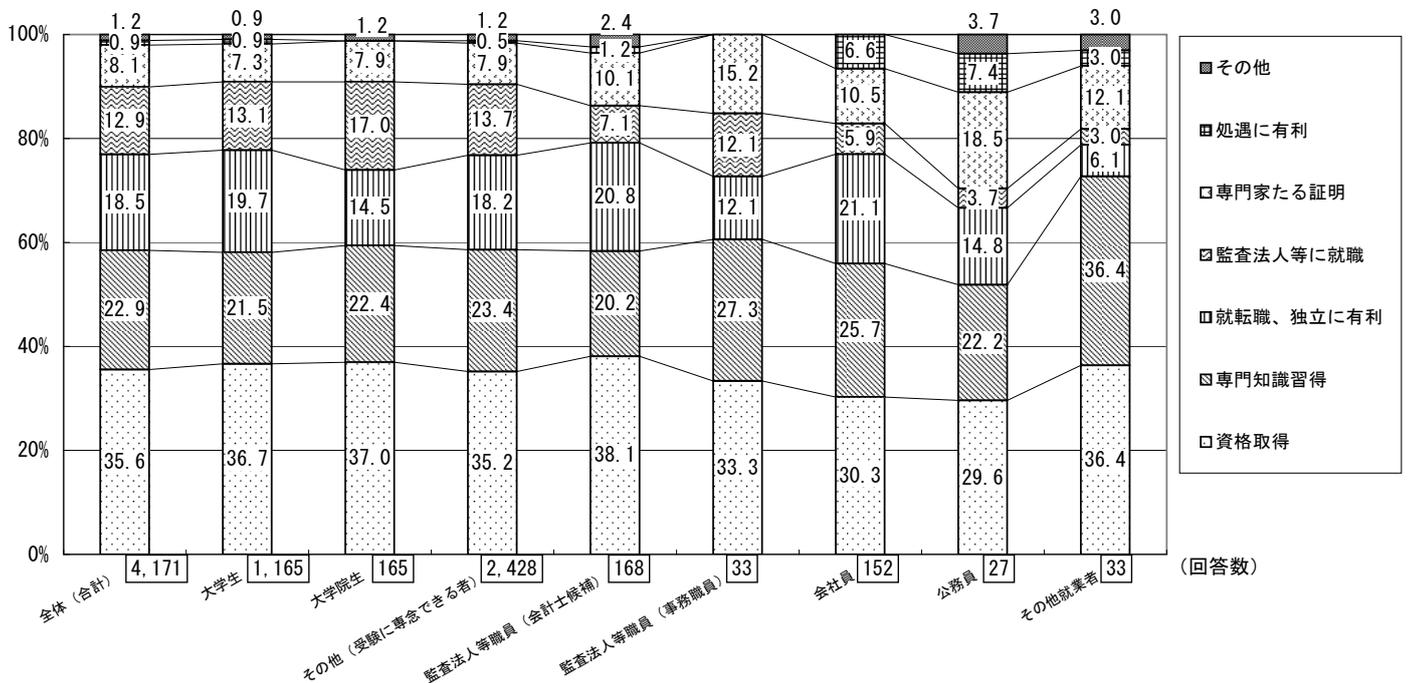
- ・大学生が28.5%、その他無職等受験勉強に専念できる者が57.4%



### 質問7かつ10 職業別受験動機 (複数回答)

対象：全員  
回答者数：1,766人  
総回答数：4,171

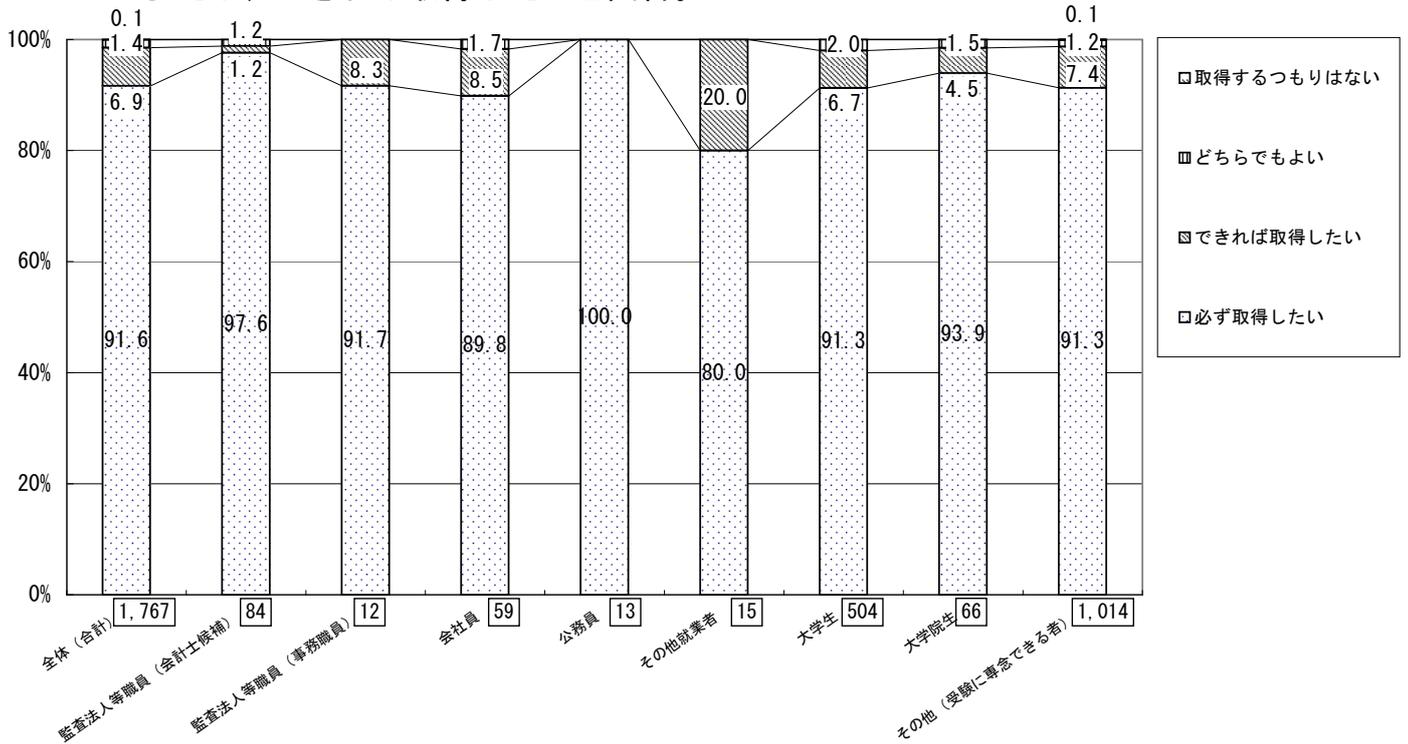
- ・ほぼ全ての職業において、「公認会計士資格の取得」「会計分野の専門知識の習得」「就職・転職・独立に有利」との回答が多い。
- ・大学生・大学院生・その他においては、「監査法人等に就職を希望するため」との回答が多い。
- ・会社員その他の就業者においては、「会計分野の専門家であることを証明するため」との回答が多い。



### 質問 8 かつ 10 職業別資格取得意思

対象：全 員  
回答者数：1,767人

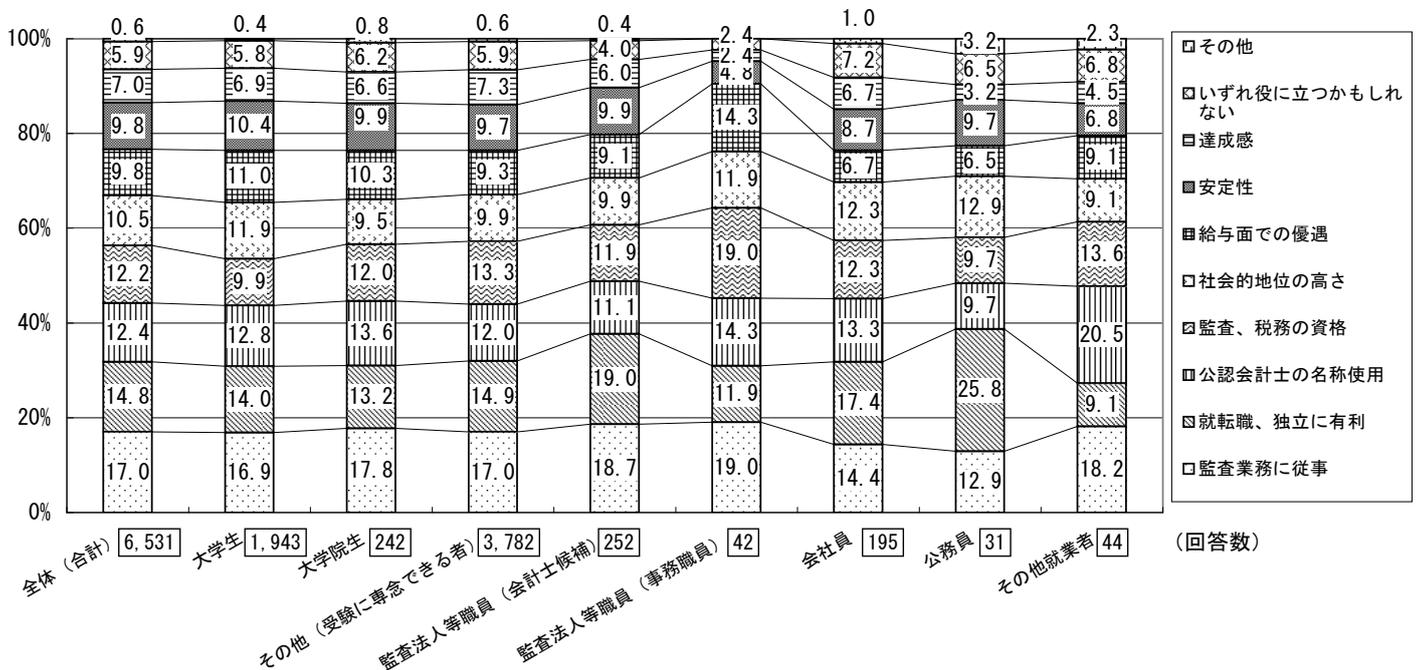
・ほとんど全ての合格者が公認会計士資格を必ず取得したい、または、できれば取得したいと回答。



### 質問 9 かつ 10 職業別資格取得理由 (複数回答)

対象：資格取得希望者  
回答者数：1,737人  
総回答数：6,531

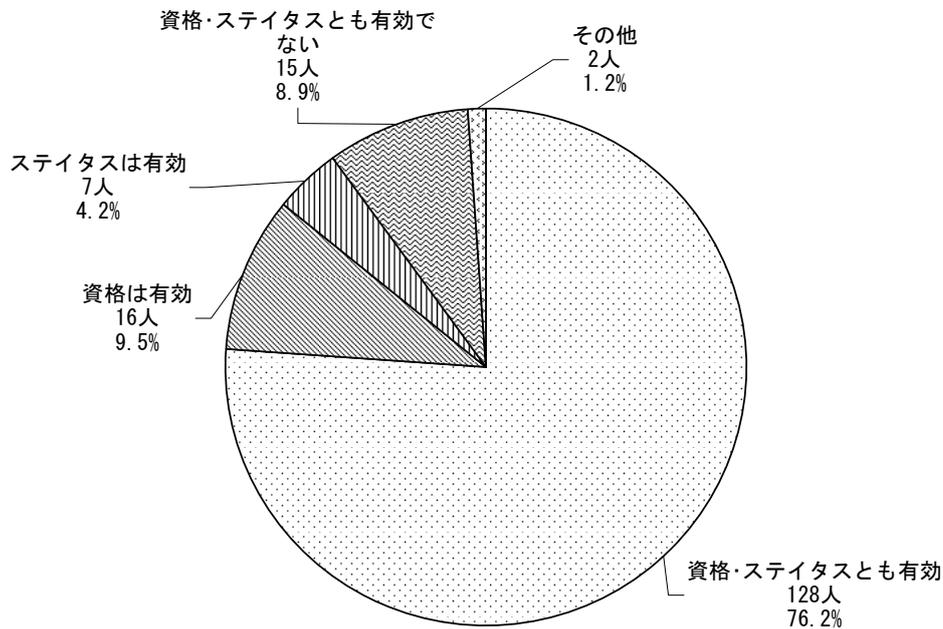
・ほぼ全ての職業において、「監査業務に従事するため」「就職・転職・独立に有利なため」「合格だけでは公認会計士と名乗ることができないため」「監査業務資格、税務業務資格などの特別な資格が得られるため」などの回答が多い。  
・大学生・監査法人等の事務職員では、「社会的地位が高いため」「給与面で有利なため」との回答が多い。  
・会社員・公務員では、「監査業務に従事するため」との回答は相対的に少なく、「就職・転職・独立に有利なため」「社会的地位が高いため」との回答が相対的に多い。



### 質問16 資格・ステイタスの有効性

対象：社会人  
回答者数：168人

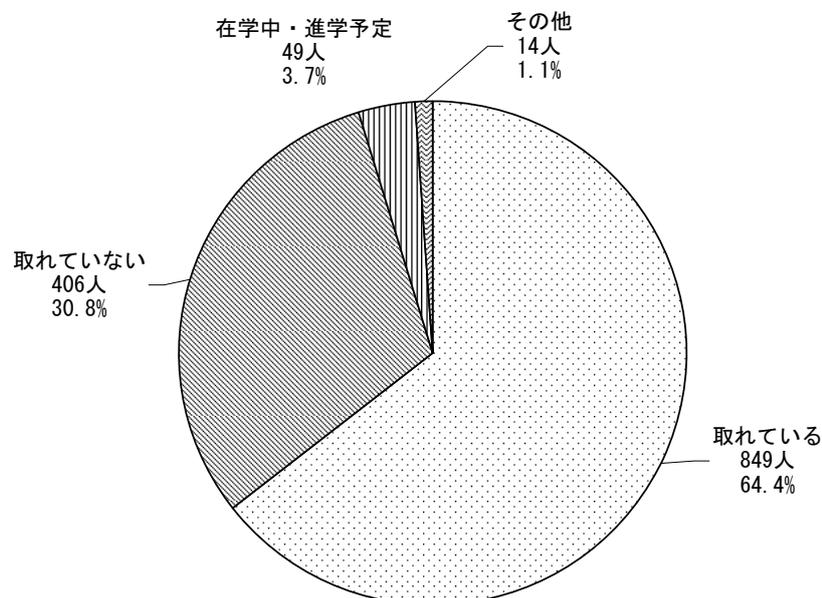
- ・ 公認会計士の資格・ステイタスともに有効との回答が多い。



### 質問20 合格後の内定取得状況

対象：学生、無職等  
回答者数：1,318人  
平均年齢：25.5歳

- ・ 学生や無職の合格者のうち、就職の内定が取れている者は64.4%、内定が取れていない者は30.8%



質問22 内定先の業種（会社員）

対象：会社内定者  
回答者数：16人  
平均年齢：29.1歳

